2003年11月14日発行

TRC MARC ニュース

第24号 別冊付録

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・	1
「TRC MARC意見交換会」 での主な質疑応答（要約）・・・・	1
「新TRC MARC案」 の主な改良点アンケート結果・・・・	14

はじめに

先般、開催いたしました「TRC MARC 意見交換会」(東京・大阪・名古屋・福岡)にご参加くださり誠にありがとうございました。また、大部の「新TRC MARC案」の主な改良点アンケートにお答えくださり、誠にありがとうございました。

意見交換会で頂戴いたしましたご意見およびアンケートの集計がまとまりましたので、ご報告させていただきます。意見交換会でのご意見は、各会場で重複するご質問等もあり、弊社で編集をさせていただきました。アンケート集計のほうは、なるべく各図書館の生のご意見をお伝えする意味からも、原文のまま掲載いたします。何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

「TRC MARC 意見交換会」での主な質疑応答(要約)

1 . 提供MARC等の価格	2
2 . 提供MARC・典拠ファイル・内容細目ファイル<一般>	2
3 . 新TRC MARCへの移行	3
4 . 文字コード	5
5 . 新TRC MARC案に関連して	5
5 - 1 . 新TRC MARC案全体	5
5 - 2 . 記述の対象とその書誌レベル	7
5 - 3 . 字体の統一の中止(旧字の採用)	8
5 - 4 . 資料コード	9
5 - 5 . ルビの付記を中止	9
5 - 6 . 合集の取り扱いを変更	10
5 - 7 . 2以上の責任表示の入力順序を変更	10
5 - 8 . 説明的語句の省略	10
5 - 9 . 本体価格と定価	10
5 - 10 . 部編名, 巻次, 回次, 年次等の読み	11
5 - 11 . 著者紹介冒頭の<姓または名>の中止	11
5 - 12 . 図書に表示された著者の読み	11
5 - 13 . 出版者の分かち書きの開始	11
5 - 14 . 基本件名標目表第4版の採用	12
5 - 15 . 絵本の主題分類・ノベライズの図書記号	12
6 . 洋書MARC	12
7 . 近刊MARC	13

1. 提供MARC等の価格

Q 新TRC MARC・新典拠ファイル・新内容細目ファイルの価格はどうなりますか？

A 新TRC MARCは、Uタイプの改良版ということで、Uタイプの金額でご提供いたします。また新内容細目ファイルにつきましても、現在の内容細目ファイルの改良版ということで、現在の内容細目ファイルと同じ金額を考えています。

新典拠ファイルにつきましては、件名・全集・シリーズ・出版者の典拠ファイルを新しくご提供することになりますので、現在検討いたしております。

全く新しい商品である目次情報ファイルにつきましても、同様に検討中です。

検討中のものにつきましては、できるだけ多くご採用していただける金額を、と考えておりますので、もう少しお時間をいただければと思います。

2. 提供MARC・典拠ファイル・内容細目ファイル<一般>

Q タイプとは、Uタイプとはなんですか？

A タイプはあらかじめ、タイトル・著者・出版者などの長さを何文字と決めている固定長です。Uタイプは、長さの制限のない可変長です。具体的には、『TRC MARC ニュース 第23号』のp18, 21とp153に同じ例でそれぞれ掲載してございますので、ご覧ください。

Q Uタイプの提供は今後どのくらい可能ですか？

A Uタイプ採用館がある限り、ご提供し続けるのが私どもの責任と考えております。

Q TOOL - iでは新TRC MARCが提供されるのですか？

A 当面はUタイプをご提供いたしますが、新TRC MARCへの移行状況をみつつ将来的に変更する方向で考えております。

Q TRCDもUタイプと新TRC MARCの両方が提供されるのですか？

A TRCDは、Uタイプのみと考えております。

Q 新TRC MARCでは、メンテナンスデータがタグ単位で提供されるとのことですが、UタイプでもMARC単位ではなく、タグ単位で提供されると考えていいのでしょうか？

A Uタイプのメンテナンスデータをタグ単位で提供しますと、なんらかのシステムの変更が必要になるかと思えます。したがって、Uタイプのメンテナンスデータは、従来どおりMARC単位での提供という方向で考えております。

Q 新TRC MARC採用ということではなく、現行のUタイプに追加して提供してほしい項目（「アルファベット・数字を含む読みのタグ」など）がありますが、どうでしょうか？

A 図書館でのシステムの変更が必要になると考えられます。そうであれば、新TRC MARCをご採用いただいたほうが、よりよいのではないかと考えております。

Q 入力項目が増えるようですが、MARC作成日程はこれまでどおりと考えてよいのでしょうか？

A MARC作成日程はこれまでどおりですが、より早くご提供できるものは早くご提供したいと考えております。

Q 新しい典拠ファイルは別々に購入することになるのでしょうか？

A 現在提供している人名・団体名典拠ファイルと、人名・団体名・件名・全集・シリーズ・出版者全体でひとつの新典拠ファイルの2つの提供方法を考えております。

Q 新しい典拠ファイルについても、今システム上に簡易版として提供されているような形での提供形態を考えていますか？

A 現在、販売方法も含めて図書館にとって使い勝手のいい方法を検討中ですので、あらためてのご案内とさせていただきます。

Q 内容細目ファイルは現在購入中のものが新しくなるということでしょうか？

A 現内容細目ファイルと新内容細目ファイルというそれぞれ別の商品となりますので、MARC本体と同様に、現内容細目ファイルと新内容細目ファイルの両方のパターンをご提供いたします。

3. 新TRC MARCへの移行

Q 現在Uタイプですが、もし新TRC MARCと全件置きかえる必要が生じた場合、費用はどうなりますか？

A オプションで、MARCの保守契約サービスという仕組みがあります。年間20万円という金額です。このなかには、2つのサービスが含まれています。ひとつは、毎週のメンテナンスデータをその都度、更新用MARCとしてご提供するもの。もうひとつは、今回のようにMARCが改訂などされたときに、過去のものにさかのぼって提供するサービスです。例えば、現在図書館で30万件のMARCを持っていたとしますと、その30万件のTRC MARC No.を頂戴して、そのMARC No.

とTRC MARCを機械的にマッチングをかけ、新TRC MARCの形式にしてお届けします。したがって、保守契約をしている場合は別途の費用はかかりません。保守契約をしていない場合は、別途の契約になりますので、どうしても機械処理代のところは実費をいただくようになります。営業的な面がありますので、ご相談させていただきます。

Q リプレース時に新TRC MARCを採用するというスケジュールになると思いますが、各メーカーが新バージョンでの完全対応をしているのか知りたいのですが？

A メーカー定例会のなかで、各メーカーにどのバージョンから新TRC MARCを採用していただけるのか、確認してお知らせするようにいたします。

Q 新TRC MARCのデータのボリュームがかなり大きくなるので、サーバーに負担がかかりすぎる気がするのですがいかがでしょうか？例えば、40万冊対応が35万冊対応とかになりませんか？

A 今回、書誌部と典拠部分を切り離すことを考えております。効率よく使うことによって、タグが増えてもそれを吸収できるように効率よくつくれるのではないかと考えています。メーカーへの「新TRC MARC」の説明会のなかでよく説明していきたいと思います。

Q 来年9月以降、不具合で読み取れないといった事がないように移行前にサンプルデータでのテストを実施していただければと思いますが・・・

A 各メーカー定例会の中でテストデータをお配りして、互換性のテストをしていただくと同時に、ホームページ上でもテストデータを公開してご確認いただけるようにしたいと考えております。

Q 各メーカーとの話し合いの計画はどうなっていますか？またその結果を報告してほしいのですが・・・

A 定期的に行っている各メーカーとの定例会とは別に、打ち合わせの会を8・9月に開催する予定です。また、なんらかの形でご報告もさせていただきたいと思います。

Q 新TRC MARCに移行する場合、自館でMARCを加工していますので、上書きされると困ります。累積MARCをMARC単位の変換ではなく、タグ単位で変換することは可能ですか？

A 図書館の累積データを新TRC MARCに置換するかどうか、置換するとした場合、どのように行うか等、事前にメーカーと十分な打ち合わせが必要と考えております。その上で置換することになりますので、ご相談させていただきます。

Q 新TRC MARCを契約後、Uタイプをデータとして保持していた場合、Uタイプのメンテナンスデータのサービスを受けられますか？

A 新TRC MARC契約後は、新TRC MARCのメンテナンスデータのご提供と考えておりますが、図書館でMARCをどのようにもたれるかということと、深い関係があるかと存じます。ご相談させていただきます。

Q 新TRC MARCに移行した場合、例えば現行の国立国会図書館総合目録のような総合目録にデータを送付するときに、過去に送ったものと、新TRC MARCで送るもので、不具合はでてこないものなのでしょうか？

A 総合目録用のデータは、図書館のデータを総合目録共通フォーマット(=JAPAN/MARCフォーマットに準拠)に変換して提供していると思いますので、新TRC MARC採用にともない、図書館システム上のフォーマットに変更が生じた場合には、何らかの手当てが必要かと思われます。なお、国立国会図書館には、『TRC MARCニュース 第23号』をお届けして、新TRC MARCのご案内をいたしております。

4. 文字コード

Q JISは採用する版によって文字イメージが若干異なっています。利用者に混乱はでないのでしょうか？

Q TRC外字が普通のパソコンでみると≡になっていますが、TRC外字について、発想を変える予定はありますか？

A 2つのご質問に関しましては、パッケージシステムにもよるかと思しますので、ご要望をいただきたいと思っております。現状は、ユニコードで統一したフォーマット・コードでのご提供ができないかということ、検討しはじめているという段階です。

5. 新TRC MARC案に関連して

5-1. 新TRC MARC案全体

Q かなり情報が多くなると、前は1画面で見えていた情報が、新しい情報が加わったために1画面で見えないということがおきます。1画面に苦勞させないでもでてくる画面づくりというのは望めないでしょうか。

A 各図書館によってなにを表示させたいかがあるかと思ます。また、各パッケージによっても違うかと思ますが、少なくともこういうデータを最低限表示したほうがいいというようなところは、各メーカーにお話させていただきたいと思ます。

- Q 原タイトル・受賞情報・注記される情報源のタイトルで検索できるようになりますか？
- A 原タイトル・受賞情報・注記される情報源のタイトルの項目を各図書館の検索システムのなかで、検索対象としていただければと思います。
- Q 漢字検索対象となるであろうタイトルなどの分かちについては、どう考えていますか？
- A 中間一致・複合検索・絞込検索などが可能になってきていますので、漢字形に分かちを付与しなくてもよいのではないかと考えております。
- Q 小・中学校との連携ということがいわれています。現代かなづかいに準拠した第2の読みとして、「ハ」「ヘ」「ヲ」「ヂ」「ヅ」の読みを入力してもらえないでしょうか。目録規則の「ワ」「エ」「オ」「ジ」「ズ」というのは、ローマ字変換や音声で読み上げるソフトウェアの開発がされたときに有効だと思しますので、これはこれで残していただいた上で、第2の読みとして工夫をお願いします。
- A 機械的にノイズがでてよいということであれば可能ですが、人的にというのは難しいかと思えます。検討事項とさせていただきます。
- Q 新TRC MARCにより変更された点は、累積データにさかのぼって変更されるのでしょうか？または変更されるものと変更されないものにわかれるのでしょうか？
- A 『TRC MARC ニュース 第23号』で「累積MARCも新MARCの形で提供いたします」となっているものに関しましては、累積MARCにさかのぼってすべて変更いたします。「累積MARCは、現行のUタイプと同様になります」となっている項目は、1冊ずつの図書現物の確認が必要となりますので、累積MARCの変更はしない予定です。
- Q 順次修正とはどのように修正がすすんでいくのでしょうか？
- A 版違いが出版されたり、全集の次の巻が出版されたりした場合に、さかのぼって修正いたします。
- Q 従来のタグをここまで改変するのであれば、今回のパッチワーク的な変更ではなく、全く新しいタグを考えられたほうが、良いように考えます。
- A Uタイプの改良ということで、新TRC MARC案をご提案させていただきましたので、ご指摘のとおりのございます。今後の課題とさせていただきたいと思えます。

- Q 画面でどう表示するかとか、どう検索したときにヒットしないかというようなことは、コンピュータのソフトウェアの問題だと思います。そういう関係ない話題までデータの提供会社であるTRCが引き受けてサポートしようとするところに問題があって、それをMARCの内容にまで反映させようとする、かえってMARCがおかしくなると思います。TRCのサポートする範囲を明確にしたほうがいいのではないのでしょうか。
- A 確かに表示の問題などは、基本的に各図書館とメーカーとのことではあると思いますが、MARCを提供している会社として、メーカーとの定例会などとおして、サポートできる部分はサポートしていきたいと考えております。

5 - 2 .記述の対象とその書誌レベル(『TRC MARCニュース 第23号』 p24~28)

以下ページ数のみ表示

- Q 今後、セットものが固有のタイトルでとられると、請求記号との関係はどうなりますか？
- A 本タイトルのとりかたが変わることによって、分類記号が従来よりも個々に対して付与されますが、新規シリーズの分類記号も付与いたしますので、請求記号のプログラムのほうで、各図書館ごとのデフォルトを設定して対応する予定です。個別にご希望をお伺いして、今までどおりの請求記号を付与する場合にも対応いたしたいと存じます。
- Q 図書館が選択できるように、本タイトルがセットタイトルのMARCと、本タイトルが固有のタイトルのMARCの2種類を提供してもらえないでしょうか。
- A オリジナルでひとつのMARCを作成していますので、難しいかと思います。また、各図書館でのタイトルの表示と『週刊新刊全点案内』やTOOL-iでの表示とが異なると、かえって混乱を招くのではないかと考えています。ただ、このセットものとり方に関しましては、各図書館のご意見がわかれていますので、今後よくご意見をお聞きした上で、慎重に対応したいと考えています。
- Q NCR87年版というのは、あくまでもカードの書き方や表示されるときにどうするかということが主眼の規則です。それに対してTRC MARCというのはデータのインプットです。ある目録規則に準拠するといったときに意味するのは、どこから情報をとるとかというのはNCRと一緒にですが、251AがイコールNCRの基本書誌レベルのタイトルであるという仮定にたって、251AをNCRのタイトルにすることがイコールNCR87に準拠していると考えるのは、ちょっと短絡だと思われます。どのフィールドに何を入れるかというところについては、すべてのNCRに

対応可能だと思います。ですから、251Aはそのままにしておいても、「こういう形でアウトプットすればNCR87の形になりますよ」「こういう形でアウトプットすればNCR77の形になりますよ」という可変性さえ保証していただけたら、今までのやり方を変える必要はむしろないかと思いますが、どうでしょうか。

A NCR87年版を採用という言葉をここで使ったのがよくなかったのかと思っています。NCR87年版を採用するにあたって適用を変更したというよりは、児童書などであるのですが、セットでまとめてとりすぎているのではないかというご指摘や、個々の図書館での検索結果一覧で全集名が並んで個々のタイトルが表示されないのは困るというご意見に対応したものです。

R 今まで書誌をつくっていてもどうしてももどかしい部分があったので（書誌階層的にまず振り分けられないというのがあって）、今回の新MARCでは、その辺がきちんと整理されているような印象を受けました。

Q 「地球の歩き方」のタイトルのとりかたはどうなりますか？累積という意味でも、公共図書館の場合は、古いガイドブックを買うことはまずありませんし、何年も前の資料を保管することはありましても、利用はほとんどありません。是非、地域ごとのタイトルでとってほしいのですが。

A 「地球の歩き方」に関しましては、以前からご要望として伺っておりますが、継続中のタイトルのとりかたを変更することは、影響が大きいのではないかと考えております。今後、他の図書館のご意見もお伺いした上で、どうするのが一番いいのか検討したいと思います。

5 - 3 . 字体の統一の中止（旧字の採用）(p29)

Q 著者表示で、いままで新字で統一されていたものが旧字で表示されるものがでた場合に、統一形にどう影響するのかがよくわからないのですが？

A 統一形の変更は一切ありません。「村上竜」の統一形はそのまま、「村上龍」が記述形のひとつとして典拠にぶらさがる形になります。

Q 人名典拠ファイルがあるものは良いとして、タイトルは統一を中止すると漢字検索でうまくヒットしないのではないのでしょうか？

A 使われている文字コードによって若干違いはあると思いますが、現在270文字ぐらい旧字ということで統一している文字を今後採用することになります。各メーカーに旧字で検索しても新字で検索してもヒットできるシステムを作成していただけるよう、新字・旧字の文字テーブルをお渡しする予定です。

Q 旧字の採用はとてありがたいのですが、現在刊行中のタイトルについては、刊行終了まで統一したままで続けてほしいのですが。

A 刊行途中のものにつきましては、タイトルを仮に統一したままにしても、他の項目、例えば、責任表示をどうするのか。シリーズや出版者は？という問題が生じることが考えられます。できれば2004年9月以降は刊行途中のものも旧字という形にさせていただきたいと思います。

R O P A Cについても、漢字検索が入ってきている状況で、旧字の採用はかえって検索しにくい状況があります。注記タグが充実しているので、旧字体やルビの付記の表記を注記にタグとしてもたせるにとどめてはどうでしょうか。

5 - 4 . 資料コード(p45 ~ 56)

R 資料コードの名称はわかりづらいのではないのでしょうか。当館ではバーコード No. を資料コードと呼んでいます。

R 流通関連のタグなど、資料コードのなかには図書館にとっては不要なコードもあります。削れないのでしょうか？

Q 付属資料の著作権コードは、該当資料に表示されているときのみでなく、すべて問い合わせをして入力してもらえないのでしょうか？

A 途中で変更されたりすることもあるかと思いますので、現状ではなかなか難しいかと思います。

Q 付属資料の著作権コードは、『週刊新刊全点案内』上でも表示してほしいのですが。

A 現在、内容紹介の文末に表示しておりますが、2004年9月の段階で『週刊新刊全点案内』の改訂を予定していますので、もうすこし見やすい表示を考えたいと思います。

Q 買い切り商品かどうかわかるようにできないのでしょうか？

A その時々扱いによって異なりますので、難しいかと思います。

5 - 5 . ルビの付記を中止(p57)

R ルビの付記の中止はしないほうがいいのではないのでしょうか。表記もどこかにされていないとわかりづらいです。

Q 「こころの羅針盤(コンパス)」が漢字検索でヒットしないというのがよくわからないのですが・・・

A この場合、前方一致ではヒットしますので、この例がよくなかったかと思えます。「私(マコ)だけの北極点」を思い浮かべていただくとわかりやすいかと思えます。「私だけの北極点」で漢字検索すると0件となります。

5 - 6 . 合集の取り扱いを変更(p57)

Q 251・252・・・となると新しいタグの設定が必要になりますか？

A 現在も責任表示が異なる場合には、251・252・・・という入力方法をとっていますので、新しいタグの設定が必要ということはないと思えます。

R 図書本体に表示されているタイトル全体での漢字検索が不可能になりますので、タイトル全体は入力してほしいと思えます。

5 - 7 . 2以上の責任表示の入力順序を変更(p60)

R 責任表示の入力順序の変更はやめていただけませんか。監修者が先頭にくるのは困ります。当館では、図書記号を支援システムにより第一著者のカナ2文字をとっていますので、不都合が生じてしまいます。

5 - 8 . 説明的語句の省略(p65,p76～83)

R 説明的語句が省略になると記述部分の羅列になり識別が困難になりますので、説明的語句は省略しないでいただけませんか。例えば、(発売)(製作)などの付記、「付属資料：」「原著 版の抄訳」などです。また、「別書名：」が本来の別タイトルと異なるのであれば、適切な語句で補ってほしいと思えます。

5 - 9 . 本体価格と定価 (p 84)

Q 本体価格と定価の項目の提供は、実際にはどうなりますか？

A 現在検討中ですので、『TRC MARCニュース 第24号』であらためてお知らせいたします。

5 - 10 . 部編名, 巻次, 回次, 年次等の読み (p 94)

Q 具体例が少ないので、もう少し詳しく説明してください。例えば、上巻とか別巻 1 はどうなりますか？

A 上巻は、690D01 1、別巻 1 は、690D01 通巻(別 1)となり、551Dの変更はありません。

5 - 1 1 . 著者紹介冒頭の<姓または名>の中止(p104)

R 当館では、著者紹介を注記欄に取り込んでいますので、<姓または名>を中止されると、2名以上いる場合は誰の著者紹介かわからなくなってしまいます。

5 - 1 2 . 図書に表示された著者の読み(p105)

R 利用者から図書の表示どおりの著者の読みで検索しても、検索できないとのクレームがあります。例えば「水上勉」ですが、図書に表示されている読みは「ミズカミ, ツトム」で、MARCの読みでは、「ミナカミ, ツトム」となっている場合です。典拠ファイルの参照形で「ミズカミ, ツトム」の読みをもっているということはわかりますが、MARC上にも図書の表示どおりの読みを入力してください。外国人著者は、図書の表示の読みが入力されているのに、日本人の読みだけがそうじゃないというのは、利用者に納得していただけない部分があります。

R 当館では、典拠を通して検索するのが職員の通常の意識になっていますので、利用者にもそのようにご案内をしています。その点では特に不自由を感じているということはありません。

R MARC も典拠も基本的に原則論的にとっていただいて、それぞれの館の検索の部分についてはシステムの開発等でサポートしていただければよいのではないのでしょうか。

R 典拠ファイルは、金額の面とかシステムの面から導入していない図書館もあります。典拠ファイルと一緒に使うということであれば、もう少し値段的な面で使い勝手のいいものにしていただければと思います。

5 - 1 3 . 出版者の分かち書きの開始(p110)

Q 出版者の分かち書きはローマ字変換のためでもあるということですが、どういう点がローマ字変換のためなのか？

- [A] ローマ字形は、カタカナ形をそのままローマ字変換しています。110pの「サイシンイガクシャ」をそのままローマ字変換すると、「S a i s h i n i g a k u s y a」となります。「サイシンノイガクシャ」をローマ字変換すると、「S a i s h i n i g a k u s y a」とすることができます。

5 - 14 . 基本件名標目表第4版の採用 (p 116)

- [Q] 『基本件名標目表第4版』の採用によって、第3版の件名標目と第4版の件名標目が混在することになるのでしょうか？
- [A] 累積MARCも基本的にメンテナンスいたします。各図書館の累積MARCになにもしないままだと、3版と4版が混在してしまうということが起きるかと思しますので、対応表をご提示させていただき方向で考えております。

5 - 15 . 絵本の主題分類 (p 121) ・ ノベライズの図書記号

- [R] 絵本の主題分類を『週刊新刊全点案内』上表示して、スペックへの対応もしていただければと思います。
- [Q] ノベライズの図書記号を原作者に付与してもらえないでしょうか？
- [A] ノベライズは、まず分類記号の問題があるかと思えます。NDCの文学共通区分の規定で「映画・テレビシナリオ、演劇台本、漫画などを小説化したもの（ノベライゼーション）は、小説として扱う」となっていますので、分類記号が小説になります。そうするとやはり小説化した人の作品となりますから、図書記号も原作者ではなく小説化した人となります。この場合問題なのは、図書の情報源には小説化した人の表示がないことも多く、どこまで著者性があるといえるのか疑問が残るということかと思えます。分類記号を含めまして、今後の課題とさせていただきます。

6 . 洋書MARC

- [Q] 現在、洋書MARCはどのくらい提供されていますか？また、今後、提供予定の洋書MARCの対象、内容（何語・何ヶ国語）はどうですか？
- [A] 現在、汎用のTRC 洋書MARCは、約1800件弱ございます。これは、基本的には新刊書籍ではなく、私どもの企画商品として児童書であるとか絵本を中心に、限定して英語の書籍のMARCを作成しています。また、特注と呼んでおりますが、別途図書館からの依頼を受けて、各図書館の仕様にあわせた洋書MARCを1年間に約1万件強作成しています。こちらは、各図書館とのご相談で各言語に対応しています。

また、洋書の販売につきましては、従来の企画商品とは別に、BLACKWELL Sと提携して販売することを予定しております。

Q 洋書などを自館入力する場合に、Uタイプに沿った入力方法で入力していますが、翻訳タイトルを入れるタグがないので不便を感じています。翻訳タイトルのタグを新設していただけないでしょうか？

A 『TRC MARCニュース 第24号』で洋書MARCの新タグ案を掲載する中に盛り込みたいと存じます。

Q 典拠IDは図書・AV・内容細目について提供されるとのことですが、委託洋書も該当しますか？

A 申し訳ありませんが、洋書MARCは、LCに準じて著者のカタカナ形をもっていないので、典拠IDを付与しておりません。また、委託（特注）でMARCを作成したものは、汎用のTRC MARCではありませんので、典拠IDは付与しておりません。ご了承いただければと思います。

7. 近刊MARC

Q 近刊情報の提供について詳しく教えてください。

A まず、現在どのように近刊情報をもっているかといいますと、出版者から事前情報として、ペーパー（一部電子データ）での情報提供をさせていただいております。実際に出版されるものの約50～60%ぐらいかと思います。この事前情報が90%ぐらいそろっているのは、データ見本が入る時点でございます。

仕組み的にはこの近刊情報を図書館に提供できる状況になりつつありますが、問題になりますのが、まず近刊情報は100%出版されるとはかぎらないという点です。予約を承った図書館に対して、システムで管理されていると思いますので、発行中止のデータを図書館パッケージにお返ししなくてはなりません。また近刊情報をお渡しして、ご予約・発注いただいた図書が弊社における新継続とかぶった場合、システムの処理の程度や整合性を保つためにどういうデータを提供すればよいか。このへんをメーカーとの打ち合わせのなかで、検討して提供できるようにしたいと考えております。

R 各図書館に近刊MARCを販売するという方法ではなくて、個別契約をしてTRCが一元管理をしておいて、グループ検索なりができるようにして、MARCの管理などは省いてもいいのではないのでしょうか？TRCへアクセスすれば近刊情報がのぞけるというのでもいいのではないのでしょうか。今、ベル情報が冊子ででていますが、あれが検索できると助かります。

「新TRC MARC案」の主な改良点アンケート結果

1.	「NCR 1987年版」の採用	15
1-1.	固有のタイトルをもつセットものの取り扱いを変更	15
1-2.	「NCR 1987年版」採用にあわせて並列タイトル等のタグを新設	18
2.	字体の統一の中止	19
3.	タグの細分化と整理	22
3-1.	流通に関する事項(365)を資料コード(121)へ	22
3-2.	合集の取り扱いを変更	23
3-3.	出版者をリピータブルに変更し、役割区分コードを新設して発売のフィールドを中止	24
3-4.	各巻レベルの資料種別・版表示・原タイトル・注記・装丁を全体レベルに統合	25
3-5.	付属資料の種類と数量、大きさのタグを新設	26
3-6.	シリーズのフィールドを変更	27
3-7.	タイトル関連情報標目のフィールドを変更	28
3-8.	注記のタグを細分化	29
3-9.	著者標目の付記事項を分割	30
3-10.	全体・各巻レベルの件名標目・個人件名標目のフィールドを分割	31
4.	アクセスポイントの充実	32
4-1.	コード化情報を追加	32
4-2.	刷りISBN・シリーズISBNの提供	34
4-3.	本タイトルのルビの付記を中止	35
4-4.	責任表示の範囲を拡大(〔ほか〕)の範囲を狭める	37
4-5.	出版年月・日の入力に変更して2003/04/03と入力	38
4-6.	出版年月日のアクセスポイントを新設	39
4-7.	前付ページの省略を中止	40
4-8.	タイトル関連のアクセスポイントにアルファベット・数字を含む読みのタグを新設	41
4-9.	シリーズレベル・各巻レベルのアクセスポイントを全体レベルと同様に	42
4-10.	巻次の読み(551D・591D・581D)を4文字からすべて読むに変更	43
4-11.	出版者・全集・シリーズ・件名の典拠IDの提供	44
4-12.	出版者読みの分かち書き	45
4-13.	注記のタグの細分化に応ずるアクセスポイントを新設	46
4-14.	受賞情報の追加・書評(新聞掲載日付・書評者の追加)	47
4-15.	地域区分を追加	48
4-16.	セットもののシリーズレベルの分類記号・図書記号・巻冊記号の提供	49
4-17.	基本件名標目表(第4版)の採用と付与数の変更	50
5.	新個人名典拠ファイル・新団体名典拠ファイルの提供	51
6.	典拠ファイル(全集・シリーズ・出版者・件名)の提供	52
7.	新内容細目ファイルの提供(著者の典拠コントロールの開始)	53
8.	目次情報ファイルの提供	54
9.	各巻レベルの著者紹介の中止	55
10.	MARC上の内容の著者標目の中止	56
11.	出力順序制御・編集制御の付与方法の変更	56
12.	新TRC MARC案に関連したご意見・ご要望	57
13.	新TRC MARC案採用予定	61
14.	Uタイプ変更点に対するご意見・ご要望	62

1. 「NCR 1987年版」の採用

1-1. 固有のタイトルをもつセットものの取り扱いを変更

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
147 (55%)	96 (36%)	18 (7%)	6 (2%)

賛成

すでに自館で修正しているため。	千葉県 A 図書館
書誌階層に対応するシステムへのインストールを前提としたタグ設定としていただければよいと思います。必要により上位階層についてダミーデータが必要になるのでしょうか？ シリーズ名典拠で問題ないのでしょうか？	群馬県 A 図書館
シリーズ物で固有のタイトルがある場合、そのテーマや巻を担当している著者などで検索することが多い。ただ、NDCが分かると不都合な場合もあるので、MARC上にタイトルでとった場合とシリーズでとった場合のNDCを並記できると助かる。	千葉県 B 図書館
1987年版は、中小規模の図書館には使いづらい点も多く、また、それまで使用していた新版予備版と概念が大幅に異なるため、目録の統一性に不安があります。しかし、機械化が進んだ今、代わるものがないので、1987年版の採用は仕方がないと思います。以前の目録と統一性がとれるよう、弾力的に運用していただければ賛成です。	愛知県 A 図書館
分類上、セットタイトルよりシリーズタイトルの方が調べやすい。	群馬県 B 図書館
p26. 2.02.1 I) <一つのセットもののなかで、各々が固有のタイトルをもつものは、単行書を記述の対象とする。>のみ反対。	愛知県 B 図書館
セットものの一部をなしているもの、シリーズの一部をなしているもの...本タイトルに固有のタイトルを採用するのか、集合タイトルを採用するのか。従来からその判断基準が非常にわかりにくく、集合タイトルで採りつつも固有のタイトルで採ったほうが便宜上良いと思う場合が多々あったように思う。 今回の変更では、基本的に「セットもののなかで固有のタイトルを持つものは単行書を記述の対象とする」という点で、セットものの一部をなしているもののタイトル採用の判断基準がより明確になりとても良い。 ただし、「セットものの中で固有のタイトルを持たない場合に集合レベルを採用する」点は、作成時にセットもの全体がわかっている場合は良いがわかっていない場合は、集合タイトルを採った書誌と固有のタイトルを採った書誌が不規則に混在することになる。 「累積MARCおよび継続中のMARCの修正はしない」との記載だが、2種類の書誌を不規則に混在させるよりもむしろ、常に固有のタイトルを優先させ、固有のタイトルを持たないものに関しては、集合タイトルで書誌を作成する方向が良いのではないだろうか。それによって判断基準はより明確化されると思う。再検討していただきたい。 累積MARCの修正もできる限り行っていく方向が望ましい。	静岡県 A 図書館
固有のタイトルを本タイトルにした方が主題性をいかせるのでよい。	東京都 A 図書館
本によって取扱いが不明確だったので統一されるのはいいことだと思う。両方で検索できるのが一番有難い。	北海道 A 図書館
考え方としては基本的には賛成。これまでの累積データとの不一致部分のメンテが必要となるのが採用にあたっての課題となる。	愛知県 E 図書館

ア - 26 エ)セットものの一部をなしているものは、 の場合共通記述となる様、集合レベルのタイトルを本タイトルとした方がいいのでは？その時々で記述が違うのは、使用上混乱する。	北海道 B 図書館
地球の歩き方はやはり地域名を優先にしてほしい。 個人全集については、各巻のタイトルが作品名と一致しない場合もある為、叢書名でとるべき。	東京都 B 図書館
継続中のものは変更しないという条件で賛成です。	大阪府 A 図書館
ニュース p27 条件2「総索引・総目次がふくまれていない」を要件にしないでほしいと思います。これがあるために、各巻書名を本タイトルにとってほしいシリーズが落ちてしまいます。(古典文学大系など)	東京都 C 図書館
ただし、シリーズが途中のもの、図書記号等が途中で変更になり、配架に混乱が起きないか心配。	埼玉県 A 図書館

どちらでもよい

装備委託した場合に図書記号が割れないように配慮できれば可。個別指定が必要であれば不可。	東京都 D 図書館
新MARC刊行時以前からの継続物については、Uタイプに関しては従来そのままの方がデータが割れなくて好ましい。	北海道 C 図書館
今でもどれをタイトルにするかばらつきがあるのでどちらでも。でも 講座は並んでいた方が使いやすいとすることがあります。個人全集も全集で並んでいた方がわかりやすい。	茨城県 A 図書館
当館が現在購入している継続資料のマークが現行のままならどちらでも良い。	愛知県 E 図書館
個人全集はセット単位のほうがよい。	岐阜県 B 図書館
基本的にはあまり変更がない方がいいと思いますが。	神奈川県 A 図書館
保守マークにて、累積マークの保守。TOOLi、「週刊新刊全点案内」と、表示の相違がないようお願いいたします。	愛知県 F 図書館
所蔵資料が、中途半端なので、どちらでもいい状態です。基本的には、固有のタイトルをとって、その分類の所に同じようなものを集めたいと思います。ただ、固有のタイトルでとると、シリーズ中数冊だけ違う分類へという場合は、セットもののタイトルでとりたいたいと思います。 例：ポプラ社刊「Little Selection - あなたのための小さな物語」、シリーズ名がとても小さいので、現状でも固有のタイトルをとっています。ほぼ“908”なのですが15巻「日本語ということば」だけ“914”になります。Y.Aとして別置しているのに、1冊だけ離れているが目立ってしまいます。(Y.Aコーナーが小さいためでもあるのですが)。	山梨県 B 図書館
固有のタイトルがあるセットものは、固有のタイトルを本タイトルとした方が良いです。多巻書名タグに入れられると、検索したとき、一覧画面でシリーズが同じタイトルになって区別がつかないものがある。また以下のことにもご注意ください。 1. 固有のタイトルをもつセットものは、必ずシリーズのNDC以外にも、固有タイトルに対するNDCを副出して付与すること。分けて配架するときに困っています。例：ビジュアル博物館 2. セットものの中で、書誌の階層を統一してください。	大分県 A 図書館

反対

合集もの場合は、それにさらにシリーズ名が付加されているとわかりづらい。	兵庫県 A 図書館
セットものに関しては従来通りの方が良い。	奈良県 B 図書館
従来のみで特に支障はない。必要があれば当館で独自に修正して使用する。提案だとセットとしてのまとまりが強いものまで個別に記述され、かえってわかりにくい。	兵庫県 C 図書館
個人全集・日本文学全集・日本歴史通史等はセット名を251Aにしてほしい。 例)山口昌男著作集 日販や大阪屋ではどうなっていますか。	愛知県 C 図書館
希望する館は採用しないようにできると良い。	大阪府 B 図書館
ローカルデータとのかねあいもあるので、現状をあまり変更しないでほしい。	東京都 E 図書館
個人の全集については「～全集第 巻」で統一されていた方がよい。書架で並べる際は全集でまとめて配架すると思うし、各巻タイトルのないものは今まで通り「～全集」では、同じような全集でも扱いがことなりわかりにくい。	茨城県 A 図書館
固有のタイトルをとるかセットのタイトルをとるかバラつきがでるのではないのでしょうか。	大阪府 C 図書館
刊行中の資料の表記が分かれてしまうのは、図書館の現場として困ります。(これまで同じセットものとして同じ分類(同じ配架場所)に並んでいた資料が、刊行の途中から各巻タイトル・各巻分類を付与され、配架場所が分散されるのは困ります。)従来のタグでも、図書館システムのプログラムによってセットものタイトルと多巻ものタイトルの同時表示が可能のため、当方としては、従来どおりの整理方法で問題ありません。	奈良県 C 図書館
現在シリーズとされる書名は、およそ終期を予定せず刊行される逐次刊行的なタイトルとなっており、本体書名とされる完結を予定されたタイトルと大きく異なります。新案ではこの明確さを欠いていること、固有の書名について細則を設けたとしても必ずしもその通りにならないことが予測され、かつ、累積データとの整合性がありません。 あと一つ、現在シリーズとされる書名には、パブリッシャーシリーズのように出版社等の固有名を含む叢書名が多く、現在本体書名とされる体系的書名とは、主題概念が異なります。そこで、書名という一般的に重要なデータの扱いについて、お客様の疑問にお答えする場合にも理論的明確さが欠落します。 次にOPAC上での書名表現とは原則的に別問題と考えますし、お客様の検索後に合致した書名表現がなされたとしても、それは、端末上の表示にすぎず、実際の図書館資料実物の姿に結びつきやすいとは言えません。また、目録規則は時代も地域も広く捕らえられた資料整理を視野としていると思います。そこには、損傷または、未装丁による図書の改装・装丁なども含め、主観的になりがちで不安定な表紙の書名の大小なども考慮していないと思います。長期的にみて有効性に疑問がのこります。 以前、書誌階層が多く議論されていたことがありましたが、これは学情に参加する大学においての問題と認識しています。NCRの書誌階層が採用されない今、変に書名をいじらない方がよいと考えるのは私だけでしょうか。 この新案が実行された際には、現行Uタイプにも変化が生じ、排架分類にも変化が生じますので慎重な判断を期待します。	奈良県 A 図書館
(案)では、過去に入力した全集のデータとの整合性に問題あり。自館入力する際、本タイトルを全集タイトルとするか、各巻タイトルとするか判断に迷う。(特に“各月配本”等、当初から全体像が見えない出版物)	茨城県 B 図書館
配架上、不都合。(巻次あるのに、揃わなくなる等)	愛知県 G 図書館

1 - 2. N C R 「1987 年版」採用にあわせて並列タイトル等のタグを新設

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
167 (62%)	90 (34%)	2 (1%)	8 (3%)

賛成

<p>現行では並列タイトルにあたるタイトルは注記に記述されているため、検索や表示に支障をきたしている場合が少なからずある(原綴で入力されていれば検索がされるがそうでない場合もある)。フィールドの新設は、検索の幅を広げ、並列タイトルをどう扱うのかわかりやすくなりとても良いと思う。</p> <p>日本語タイトルと外国語タイトルの表示がされている場合、優先順位によらず日本語タイトルを優先的に本タイトルとし外国語タイトルを注記するのは、書誌検索上不便な場合がある。他のタグでカバーするののも一つの方法だが、それがなくても検索出来るようになると良いと思う。</p> <p>また現在は、外国語で書かれている図書は、外国語タイトルを注記でなくタイトル関連情報に入力しているが、これも並列タイトルに入力するようになるのだろうか。本文の言語や標題紙の言語によって本タイトルを採ることができたらと思う。</p> <p>本文が英語ならタイトルも英語で、日本語タイトルは並列タイトルに記述する。利用者は、本タイトルが日本語であれば、その資料は日本語の資料として考えてしまいがちである。検索一覧では本タイトルしか出てこないの、本文が日本語の資料を読みたいのに、予約で取り寄せたら外国語の資料であったという場合がよくある。職員も判断しかねる場合があるのではないだろうか。特に講談社インターナショナルの類いの本が紛らわしい(本文は外国語でも、奥付に日本語のタイトルがあれば日本語をタイトルとしている)。</p> <p>余談だが、洋書 M A R C を今後作成予定のようだが、洋書の基準をどこにするのが興味がある。講談社インターナショナルのような資料は洋書にはならないのだろうか。洋書の基準は、出版国が外国ではなく本文が外国語である場合にすべきだと考える。</p>	静岡県 A 図書館
今まで並列タイトルを追加、記述していたので。	東京都 A 図書館
261A のカナ読みはどうなっていますか。	愛知県 C 図書館
取り込み方によっては検索できるようになる。	茨城県 A 図書館
原書名で検索できなかつたので、検索できるので大変いいです。	福島県 A 図書館
並列書名が機械処理上明確になるため、複数の翻訳書名が存在する際の統一的検索や、原書名から翻訳書の検索が可能となることを期待します。	奈良県 A 図書館
注記にいろいろと入力するより、タグを新設していただければと思います。	山梨県 B 図書館

どちらでもよい

なるべく簡素化が望ましい。	群馬県 B 図書館
できれば 251A、251B 系列のタグがよい	千葉県 C 図書館

2. 字体の統一の中止

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
181 (68%)	49 (18%)	29 (11%)	8 (3%)

賛成

システムに対する負担、レスポンスへの影響は？	岡山県 A 図書館
「現物(本)と違っている」と利用者のみならず、職員も混乱していたので良いと思います。	愛知県 H 図書館
現在は典拠ファイルを使用していないのですが、今後は検索もれを防ぐために必要不可欠になると思われます。予算が取れば良いのですが....	埼玉県 B 図書館
インターネット公開が増えたため。	静岡県 B 図書館
漢字検索において問題となる場合があるので典拠コントロールを広く各館が使えるようにしてほしい。	群馬県 A 図書館
以前から苦情の多い件でしたので賛成です。ただし、目録の不統一はまぬがれません。漢字検索で同じシリーズのものがヒットしたりしなかったりも困ります。現場では、シリーズのみ修正...ということになるかもしれません。それから典拠ファイルはぜひ訂正していただきたい。「村上竜」など存在しない名前をいつまでも使い続けるのは心苦しい。せめて新刊で確認できれば訂正をお願いしたい。	愛知県 A 図書館
本の表示(旧字)とMARC表示が異なっているのは気になっていたので嬉しい。	三重県 A 図書館
例)村上竜などは、今まではまちがいがやすかったので所定の情報源に使用されている字体が望ましい。	群馬県 B 図書館
典拠の関連付けがうまく行なえるようにしてほしい。	愛知県 B 図書館
以前から現物の表記と異なっている点は不具合があった。	兵庫県 A 図書館
やはり人名など、資料の記載どおりでない確認ができてにくい人がいる。	埼玉県 C 図書館
利用者からの要望もあります。ぜひ、実施を(例:村上竜 村上龍のように)	埼玉県 D 図書館
漢字検索を行うと検索結果が不完全になるといったデメリットもありますが、読みの分からないものに関しては検索しやすくなると思います。	岐阜県 A 図書館
「NCR1987年版」を採用し、転記の原則に則り情報源の字体を採用するのであれば、あえて新字に統一している現行は矛盾している。しかしながら、字体の統一の中止を行うなら、同時に新字・旧字からの検索を可能にする必要はないだろうか。新字・旧字からの検索が不可能であるのに、字体統一の中止をあえて行うべきではない気がする。そこで、ヨミの検索だけでなく、旧字・新字であることを認識出来る漢字統合インデックスの作成は出来ないものか。検索結果の幅が広がることは間違いない。また、将来的にUCS化される方向には行かないものか。	静岡県 A 図書館
「転記の原則」に従うことになるので。	東京都 A 図書館
竜と龍などまぎらわしかったので有難い。	北海道 A 図書館
異体字であっても検索が可能になるよう、図書館の情報システムサイドからではなく、MARC自体のシステムの中に何らかの形で組み込むことは出来ないでしょうか。	東京都 F 図書館

読み替えテーブルをメーカーに配布ときいている。当館にも是非いただきたい。	兵庫県 B 図書館
購入したもののマークのみ情報源に使用されている字体に変更している。累積 MARC の修正は行われなため混在するがしかたがないのでは。	徳島県 A 図書館
新字と旧字の一覧表はメーカーだけでなく図書館側にも提供してください。	愛知県 C 図書館
今までの字体との整合性がとれなくなる。特にシステムへの影響が心配。	鹿児島県 A 図書館
明らかなものは遡及して変更してほしい。せめて全集等で新字と旧字が混在するものは旧字に統一してほしい。	東京都 E 図書館
ぜひお願いします。	東京都 B 図書館
継続中の分だけでも累積も修正すべき。有名なもの、確認できる分だけでも修正してほしい(「龍馬がゆく」、文藝春秋)	福岡県 A 図書館
新旧の対応テーブルを提供していただけるという前提で賛成です。	大阪府 A 図書館
見た文字で検索した場合、検索ヒットしていないものがあり(旧字等で...例:芥川龍之介の龍がTRC MARCでは竜で統一されている)混乱する場合がある。ただし、これまでの図書MARCと今後のMARCの互換が図れるのか?	岩手県 A 図書館
旧字体が表現された場合、現在の統一字体による一般的な違和感(図書館員でさえ違和感を表明している)の減少と、漢字検索に有効かと思いますが、蓄積データとの整合性を問われる場合があると思います。ただし、過去の蓄積を重視するばかりでは前進がありません。	奈良県 A 図書館
以前の旧字との兼ね合いはどうなるのか。典拠ファイルがないと混乱しそうです。	神奈川県 A 図書館
この件に関しては、著作者、利用者等クレームが多いのが現状である。	熊本県 A 図書館
今までの辞書(典拠)との整合性を保つようにしてください。	大分県 A 図書館
固有名詞は、旧字で検索出来た方が良いとの要望が多い。	茨城県 C 図書館
過去のデータのフォローをしてもらうと、いいと思う。	愛知県 G 図書館
ただし、旧字と新字がいっしょに検索でヒットするか心配。システムの問題でメーカーに要望しているとの回答有り。	埼玉県 A 図書館
元々、名前等に正しい旧字を採用しないことに問題があったので賛成だが、遡及の修正は不可だし、運用に問題が生じることは明らかである。	福岡県 B 図書館

どちらでもよい

当館では、MARCセット時に表記形から、日本語検索用の分かちを自動生成しているが、その際、旧字が混在すると検索時に不都合が生じる。できれば、分かちのタグを設定し、そちらでは統一された字体で入力してもらいたい。	千葉県 B 図書館
累積マークが修正されないのであれば、メリットがあまりないのではないか。	埼玉県 E 図書館
利用者は書かれている通りに探すだろうけど、今までの分のデータを直すことになることを考えると作業量が多く大変。	茨城県 A 図書館
新マークに変更する際に、当館が所蔵している資料のマークも問題なく変更されるなら、どちらでも良い。(当館はマーク保守の契約をしています。)それが上手に変更されないなら反対。	愛知県 E 図書館

反対

典拠ファイルのメンテナンスが不可能になるため。	東京都 D 図書館
漢字で検索する際のヒット率の低下と異字体が心配です。	長野県 A 図書館
累積している書誌データとの整合がとれないため。	千葉県 A 図書館
著者名・出版者名については旧字の採用は賛成ですが、書名内の旧字については、検索の際の利便性を考えると字体の統一をしてもらった方が使いやすいような気がします。	愛媛県 B 図書館
累積データの典拠ファイルを修正しなければならないから。	岡山県 B 図書館
累積データが多く、修正しきれない。修正しなければ同一人物で辞書の割れるものが多すぎる。	愛知県 I 図書館
漢字入力による検索で、利用者には不都合が生じる。	長野県 B 図書館
以前のデータとごちゃまぜになってしまうため。	山梨県 A 図書館
自館システムでの対応ができない。検索結果が分かれてしまう。	愛知県 J 図書館
旧字と新字が混在する。統一形が乱れる。	和歌山県 A 図書館
現行のシステムでは漢字検索の問題がでる。	栃木県 A 図書館
漢字検索で該当全件マッチしないので利用者に不便をかける 統一化を図ってほしい。新 MARC が新字で検索してもヒットするならいいと思う。特に著者名。みためがややこしくならなければ結構です。	京都府 A 図書館
H16年12月コンピュータシステム更新予定だが、新システムでは旧字を使わない方向で検討中。旧字採用の際は、累積 MARC の修正も要望。	群馬県 C 図書館
今まで統一されていた字体が、統一されなくなると、これからの漢字検索の検索結果に大きく影響します。もし、表記の字体の統一をおこなわないのであれば、統一形のタグを新設していただきたいと思います。	静岡県 C 図書館
既刊書との整合性がなくなる点が困る。旧字を採用するのであれば、できる限り累積分も修正してほしい。	岐阜県 B 図書館
これまで蓄積してきたデータとの整合性をとることができないのであれば反対です。ただし、コンピュータ上で新・旧字体の対照テーブルをもち、検索用のキーもしくは検索用 SQL を自動的に図書館システムのプログラムが作成するのであれば、漢字検索の未ヒット率は低く抑えられると思います。	奈良県 C 図書館
遡及データ分は対応しないのであれば、典拠検索ができない環境では同じ人が何人にもわかれてしまって利用者にはわかりにくい。	茨城県 A 図書館

無記入

どちらでも検索できるのなら賛成、旧字でしか検索できないのなら反対。	栃木県 B 図書館
Uタイプで旧字を採用されると当館のシステムでは対応できない文字がでてきます。但し、新マークにおける旧字の採用は賛成です。(旧字を使用しないことについて、著者本人や、利用者から苦情をいただいています)	東京都 C 図書館
個人名での竜 龍など、従来より明らかに不都合なものは典拠を修正すべきだと思う。	岡山県 C 図書館
転記の原則にしたがって、図書の表記に近付けたデータになることは整理上納得できる。だが、復刻版の書名などで、業務システムで対応できない旧字が使われて検索に不都合が生じる不安がある。	長野県 C 図書館

3. タグの細分化と整理

3-1. 流通に関する事項(365)を資料コード(121)へ

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
86 (32%)	164 (62%)	8 (3%)	9 (3%)

賛成

日常業務で使いこなせるといいのですが...	青森県 A 図書館
装丁の種類も入るのは良いですね。	山梨県 A 図書館
あれば便利。	福岡県 A 図書館
資料購入の際、参考になると思うので賛成。コード(AO等)の内容(図書等)が誰にでも分かる一覧表があると尚便利。	愛知県 E 図書館

どちらでもよい

流通に関する事項にはこだわっていないため。	三重県 A 図書館
Gコードは日常詳しく見ない。	群馬県 B 図書館
入っていてもどちらでも影響がない。	茨城県 A 図書館
一部賛成、一部反対です。A資料種別、B資料内容などは、あるといいなと思います。けれど、G流通コード、Hベル、SB、新継続グループコードは、Tooliで調べる時はあってもいいと思いますが、自館としては必要ないのではと思います。	山梨県 B 図書館

反対

そんなに必要性を感じない。	福島県 B 図書館
データのトップに流通に関するコードがくると煩雑になる。下の方がよい。	東京都 A 図書館
タグを細分化しすぎることは、データに表示できない(利用者からみえない)情報が多くなることにつながるので、ここまでは必要ないと思います。	大分県 A 図書館

3-2. 合集の取り扱いを変更

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
161 (60%)	85 (32%)	13 (5%)	8 (3%)

賛成

現場で本タイトルと全タイトルの区分がつけられるか不安。	青森県 A 図書館
書誌階層への対応について賛成です。ただし、システムの対応の問題、発注における請求番号等の指示の問題がありますので、各業務パッケージの開発や新刊案内による選定、発注システム化について配慮が必要と考えております。	群馬県 A 図書館
「タイトル全体に対応する読み」という点では構造がわかりやすくなったが、フィールド毎のまとまりなのが残念。タイトル、ヨミ、著者とセットになっていた方がわかりやすい。	東京都 A 図書館
収録作品がわかりやすくなる。	北海道 A 図書館
漢字の前方一致で探せるようになる。	茨城県 A 図書館
フィールド単位の方がわかりやすい。	福岡県 A 図書館
552のヨミで検索し、251の漢字形が表示されるなど、検索語との違和感が生じる場合があります。1-1と同じく端末表示問題かもしれませんが、多様な表示として捉えると、現行のままで良いかもしれませんが、お客様の書名認識のしかたと思いますが、本にあるとおり、正直に検索すると未ヒットになる場合は現行と同じです。例:「風立ちぬ 美しい村」、いずれにしてもレアケースと思いますが、新案が即、良しとも言えません。	奈良県 A 図書館

どちらでもよい

システム次第です。表示タイトル全体の検索ができなくなるのなら反対。	愛知県 B 図書館
累積データとの整合性がとれなくなる。システムへの影響が心配。	鹿児島県 A 図書館

反対

検索したとき、同一書名がいくつかあると、251Aのみの一覧で表示されるため、他の図書と区別が付きにくい。	愛知県 I 図書館
資料に表示されている形での検索ができなくなる。総合タイトルの表示も必要である。	愛知県 J 図書館
タグはわかりやすくなるが、本タイトル表記が現物と違ってしまわないか。	茨城県 D 図書館
構造がわかりやすくなると思えますが、システム変更が必要になるので、必要性との兼ね合いを考えれば反対です。	大阪府 A 図書館
変更前のタイトル全体の読みがないのも不便ですが、変更後1つずつの表示だけ検索して一覧表示の画面でどうやって合集という判断をすればいいのでしょうか。	福島県 A 図書館
書名表示が現物とちがうのは問題。	福岡県 B 図書館
合集の書名タグ(251A)を251Aと252Aに分けることで書名が並列することになるのなら困ります。一覧画面に片方しか出ないようにするのは？今までのように、合集双方の書名を入力した書名の表示形を作ってください。	大分県 A 図書館

3-3. 出版者をリピータブルに変更し、役割区分コードを新設して発売のフィールドを中止

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
116 (43%)	125 (47%)	18 (7%)	8 (3%)

賛成

現使用のLics - R では、コードで入ってきても表示項目がないので無意味であるが、将来的にはコード化が望ましい。	岡山県 B 図書館
現物に複数の出版者の記載がある場合、アクセスポイントにする点においても出版者のリピータブルは必要不可欠である。注記への記述では検索出来ない。ただし、役割区分コードの新設と役割をコード化情報とする点は、その必要性を感じない。	静岡県 A 図書館
書誌の中に、発行や発売が情報として明確化されていた方がいい。	群馬県 C 図書館
役割区分をコード表示ではなく、言葉で入れてほしい。	東京都 B 図書館
現行のシステムでは同じ所に取り込んでいるから。	茨城県 A 図書館
画面上でわかりやすくなってほしい。(発売であることが)	岡山県 E 図書館

どちらでもよい

付記がなくなるとわかりづらいとは思いますが。	愛知県 A 図書館
コード新設はできるだけ控えてほしい。	群馬県 B 図書館
人間が見てわかるようにしてほしい。	岐阜県 C 図書館
役割区分コードのみでは、役割が明示されないのだからわかりにくいのか。	愛知県 G 図書館

反対

データ上で出版者との識別ができにくくなる。役割区分コードを新設しても、(発売)(製作)等の付記は中止しないでほしい。	愛知県 J 図書館
今までだと記述から一目瞭然で、役割が理解できた。今回の変更では、サブフィールドを理解しないと判断がつかない。	東京都 A 図書館
Uタイプは変更ないので、直接影響はないのですが、新MARCを使うという仮定に立てば、すべての出版者について検索できなければならないとは思えず、表示についてシステム変更が必要になるので反対です。	大阪府 A 図書館
リピータブルにするのはよいが、役割区分コードはわかりにくいので、NCRに忠実に従来どおりの(発売)等の付記をつけてほしい。	岐阜県 B 図書館
コード化するのはいいのですが、表示形(270B等)に「(発売)」の表示を今まで通り入れてください。目でみてわからなくなります。	大分県 A 図書館

3-4. 各巻レベルの資料種別・版表示・原タイトル・注記・装丁を全体レベルに統合

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
152 (57%)	99 (37%)	9 (3%)	7 (3%)

賛成

分かりやすくよいと思います。	愛知県 H 図書館 ほか 1 館
累積 MARC 修正ならよい。	群馬県 B 図書館

どちらでもよい

煩雑になってみにくくならなければいいと思います。	京都府 A 図書館
各巻レベルの注記については、当館のシステムでは目録修正画面まで表示させなければ確認できないので、全体レベルに統合した方が使いやすい。	岐阜県 B 図書館

反対

全体レベル、あるいは各巻に関わるものなのか判断できなくなる。書誌として不正確な情報になる。	東京都 A 図書館
各巻表示の方がわかりやすく、使いやすい。付属の資料がある場合、各巻と付属資料の関係がわからなくなるのでは？版表示がシリーズ内で違う場合が多いが、どうするか。	長野県 C 図書館

無記入

通常業務にどのように影響されるのかわかりません。	岐阜県 A 図書館
275E があれば 251W は必要ないのではないか。	愛知県 C 図書館

3-5. 付属資料の種類と数量、大きさのタグを新設

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
159 (60%)	94 (35%)	8 (3%)	6 (2%)

賛成

CDではなく、CD-ROMの所蔵数をカウントする時に、専用のタグがあると便利です。 例) 275E01の書誌がある本は何冊あるか？など。	静岡県 D 図書館
できれば、このタグを利用して付属資料があることが分かるようにラベルを作成し、装備上に反映させてほしい。	千葉県 B 図書館
注記では付属資料について記述されていてもアクセスポイントにはなりえない。付属資料のタイトルを検索できることが望ましい。	静岡県 A 図書館
資料種別のタグが新設されたことは賛成。ただ、サブフィールドが多く新設されすぎ。275Eにすべて記述してもよいのでは。	東京都 A 図書館
現在、一般注記に入っているが、文章の長さによってひと目で判断できず、わざわざ開いて見ないといけない。	広島県 A 図書館
付属資料の種類タグの新設、すごく良いと思います。	静岡県 E 図書館
CD-ROM等の付録が増えている。ぜひとも実現してほしい。	青森県 D 図書館
今後数も増えるだろうからあれば便利。	福岡県 A 図書館

どちらでもよい

付属資料の形態は、検索の対象ではなく、表示するだけなので、どちらかという、1つのタグにまとまっていた方が表示しやすくよいと思います。	静岡県 C 図書館
タグの新設は必要なのでしょうか？	岐阜県 B 図書館

反対

「付属資料にタイトルがある場合は、注記のタグに入力」は、少し無理がある。	埼玉県 B 図書館
タグの新設により現行の「付属資料:」の表示がなくなるとデータの意味するところが不明確になる。このタグ新設の必要を感じない。	愛知県 J 図書館
分けたものがきちんと取り込まれない可能性が高く、どれに対する大きさがわからなくなる。	茨城県 A 図書館
タグの増やしすぎ、細分化しすぎ。	大分県 A 図書館
当館では275Eに電子媒体のみ入力しています。(電子媒体の別装備指示に使用)注記のところとも関連しますが、細分化するメリットがあまりないように思え、電子媒体以外の別冊等が入力されているのは困ることから反対です。また、新設するにしても大きさだけ別タグにしなくてよいのでは。	大阪府 A 図書館

3-6. シリーズのフィールドを変更

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
155 (58%)	100 (37%)	5 (2%)	8 (3%)

賛成

以前から3以上あればよいと思っていました。ぜひUタイプにも反映していただきたい。	愛知県 A 図書館
シリーズに関する事項の多い資料が増えた。	兵庫県 A 図書館
書誌階層が整理されるのはいいことだが、並列関係か上下関係かの区別がつかない。	東京都 A 図書館
タグ上分りやすい。	茨城県 A 図書館
検索キーは多い方がよい。	福岡県 A 図書館

どちらでもよい

3以上の上位のシリーズ名は全体からするとごくわずかなもの。281Aの中位のシリーズ(副叢書名)で対応出来ている気がするが。	静岡県 A 図書館
---	-----------

反対

今までのシリーズの280A を活かす形にしていきたいと思います。変更するのであれば、280A~289A にするか、280A01~280A99 のリピータブルにするかにしてください。	静岡県 C 図書館
--	-----------

3-7. タイトル関連情報標目のフィールドを変更

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
101 (38%)	150 (56%)	5 (2%)	11 (4%)

賛成

タグの構成上分りやすい。	茨城県 A 図書館
--------------	-----------

どちらでもよい

必要があるのでしょうか？あるならばよいと思います。	愛知県 A 図書館
---------------------------	-----------

反対

「多巻ものの各巻のタイトル関連情報標目」(491～499)は、今までかなり無理な形だったものを整備することになるのでよいのですが、「タイトル関連情報標目」と「シリーズのタイトル関連情報標目」の変更は、J-BISCを併用している当館にとって、影響が大きすぎます。	静岡県 C 図書館
--	-----------

無記入

フィールド変更に伴う影響が判らないため。	愛知県 C 図書館
----------------------	-----------

3 - 8. 注記のタグを細分化

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
136 (51%)	109 (41%)	13 (5%)	9 (3%)

賛成

煩雑になりますが、わかりやすくなると思います。	愛知県 A 図書館
当館では注記のタグを細分化し、レファレンスや利用者の検索要求に応えてきたので、しかし、今回の変更は細分化しすぎ。	東京都 A 図書館
システムによっては細分化されることにより、複数の注記の場合、目につきにくくなる。	鹿児島県 A 図書館
注記細分化、理論的には賛成ですが、システムに変換された場合には、同じ注記フィールドの繰り返しが増加し煩雑な表示になる可能性があります。	奈良県 A 図書館
入力しやすくなる反面、データが煩雑にならないだろうか。	愛知県 G 図書館

どちらでもよい

NCR1987年版を採用しても、タグの細分化はそれほど必要ないと思われます。	岐阜県 B 図書館
--	-----------

反対

当館で採用しているシステムの注記のフィールドがひとつしかないため。	千葉県 A 図書館
注記内容にはある程度の幅を持たせた方がよい。タグを細分化すると、振り分けが困難な場合もあるだろうし、混乱を招くのではないだろうか。	静岡県 A 図書館
注記を詳細に記入すること、及びアルファベット数字を含むカタカナ形の入力など、アクセスポイントの新設は賛成だが、タグの細分化にともない、従来の「別書名:」や「原著の抄訳」などの説明的語句が省略されるのは反対。	愛知県 J 図書館
細分化すること自体はよいのですが、354A(原書名)のように、現在使用しているタグに別のタグを割り当てるのは絶対にやめていただきたいと思います。	静岡県 C 図書館
ヨミの対応関係をはっきりさせるためとのことですが、はっきりさせることの意味あいと、細分化することで表示についてシステム変更が必要になることとどちらをとるかという、細分化しなくてよいのではと思います。	大阪府 A 図書館
細かくすればよいというものではない。注記については細分化しだすとキリがない。	滋賀県 A 図書館
当館システムでは、細分化により書誌情報画面で表示されないデータが多くなる。	北海道立図書館
タグが多すぎるのでは。自館でデータを作成するときにもそのタグにならなければならぬので大変。	大分県 A 図書館

無記入

タグを細分化するより、一般注記をリピータブルにして、検索に対応するところとしないうちの2パターン入力場所をつくってほしい。	岡山県 C 図書館
---	-----------

3-9. 著者標目の付記事項を分割

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
124 (46%)	122 (46%)	13 (5%)	8 (3%)

賛成

現在のデータ修正の課題は残るが、取り込み方を検討しなければならない。	岡山県 B 図書館
累積データによる辞書との整合性がとりにくい。	鹿児島県 A 図書館
サブフィールド新設した方がわかりやすい。	福岡県 A 図書館
論理的なので一応賛成、運用面ではシステムの典拠対応次第です。なお、著者紹介の<>内姓名の廃止は、タグ上明確であっても、システム上は注記で表現している場合がありますので、この場合、<>内姓名は必要です。	奈良県 A 図書館

どちらでもよい

見やすい方がよい。	群馬県 B 図書館
漢字形と付記事項は別の概念なので。狭義の書誌記述としては漢字形のみが適切。	東京都 A 図書館
現在、751A しかとりこんでいない。	栃木県 A 図書館

反対

わかりづらい気がします。必要があるのでしょうか？	愛知県 A 図書館
あえて細かくする必要性はない。1つのフィールドに記述してあるほうがわかりやすい。	静岡県 A 図書館
典拠が変わるのでは。	和歌山県 A 図書館
複数の著者、アーティストがいた場合、分割して書かれると混乱するおそれがある。	広島県 A 図書館
同姓同名時に区別がつかなくなる。	茨城県 D 図書館
現行の方が見やすい。一覧性がある。(特に西洋人の)検索の際、タグを確認しなければ、それが統一形かどうかかわからない。	長野県 C 図書館
今までの典拠(辞書)と整合性がとれない。	大分県 A 図書館
システムで典拠の取り込みがきちんとできると断言できない限り反対。同姓同名別人が同じ典拠になるのは困るのでメーカー側にきちんと対応をきめてもらわないと。著者紹介フィールドにある 姓又は名 の中止は注記にそのまま入ってしまって誰の紹介が分らなくなるのでそのままにして欲しい。	茨城県 A 図書館

3 - 10. 全体・各巻レベルの件名標目・個人件名標目のフィールドを分割

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
112 (42%)	145 (54%)	2 (1%)	8 (3%)

賛成

現在のデータ修正の課題は残るが、取り込み方を検討しなければならない。	岡山県 B 図書館
タグがわかりやすい。	茨城県 A 図書館
システムの柔軟で効果的な対応次第。	奈良県 A 図書館

どちらでもよい

全体か各巻かの区別がつくのは良いと思いますが、特に必要とは思いません。	愛知県 A 図書館
フィールド新設は控えめにしてほしい。	群馬県 B 図書館
全体レベルと各巻レベルを区別する必要性を感じません。また、各巻レベルの件名は、もともとそれほど入っていないような気がします。	静岡県 C 図書館

反対

一緒によいと思う。	岡山県 C 図書館
-----------	-----------

4. アクセスポイントの充実

4-1. コード化情報を追加

	賛成	どちらでもよい	反対	無記入
ISSN の新設	169 (64%)	89 (33%)	0 (0%)	9 (3%)
著作の言語(言語コード)の新設	160 (60%)	101 (38%)	0 (0%)	6 (2%)
資料種別コードの新設	150 (56%)	108 (40%)	2 (1%)	7 (3%)
資料内容コードの新設	139 (52%)	121 (46%)	1 (0%)	6 (2%)
索引肖像コードの新設	128 (48%)	129 (48%)	2 (1%)	8 (3%)
著作権コードの新設	187 (70%)	71 (26%)	2 (1%)	7 (3%)

コード化情報追加へのご意見

賛成

著作権コードは、出版者が「社としての方針」を立てている場合に記述があることが望ましい。	東京都 D 図書館
便利で良いかと思えます。	愛知県 H 図書館
121のコードを“全集全体を対象とする”ことについては反対です。	埼玉県 B 図書館
利用者への説明などにも使えそう。	埼玉県 C 図書館
コードの新設は基本的に賛成である。特に著作の言語コード、出版国コード等があると良いと思う。わかりやすいようにするなら、言語や出版国を略語コードにするのはどうだろうか。 例:日本語 jpn、英語 eng、日本 jp、アメリカ us	静岡県 A 図書館
コードが多すぎると思う。(とり込む側の図書館での問題かとも思うが)	東京都 A 図書館
コード追加にともない、情報が増えるのは良いのですが、コードではわかりにくいので、内容で入力してほしい。	長崎県 A 図書館
該当資料に表示のないものもコード入力してもらいたい。できたら別のタグで表示してもらえると大変嬉しい。	愛知県 C 図書館
細かいところまで情報が収められるのはよいと思うが、その情報について全ての資料が正しく提供されるようにしてほしい。(情報もれがないようにしてほしい)	鹿児島県 A 図書館
コードの表示ではなく、言葉で表示してほしい。	東京都 B 図書館
P46の資料種別のサブフィールドで、全集の内1冊のみが電子資料であってもその全集すべてが「電子資料121A01 M3」となるのは問題では？	福島県 A 図書館

どちらでもよい

コード化は、見づらく複雑化を感じる。	群馬県 B 図書館
新設しすぎて分かりづらくなければ良いと思います。	栃木県 C 図書館
現在のUマークに新設できないでしょうか！	和歌山県 A 図書館
全般、あまり必要性を感じない。	岡山県 C 図書館
ISSN はほとんどの公共図書館では使われないのではないのでしょうか。	愛知県 C 図書館
資料種別コードの全集の場合の取扱いについて疑問あり。新設しても意味がない(利用しない)ものも多いのでは？	滋賀県 A 図書館
不要の意見も有。やたらコード化されていますが、どこまで本当に必要かは疑問。コードを増やして情報を増やすことより既存のデータをもう少し丁寧にミスがないよう確実にしてほしいです。	大分県 A 図書館

反対

いらない。	福島県 B 図書館
-------	-----------

無記入

Uタイプにも新設してほしい。	福岡県 C 図書館
----------------	-----------

4-2. 刷りISBN・シリーズISBNの提供

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
160 (60%)	98 (37%)	2 (1%)	7 (2%)

賛成

ブティック社の資料など、刷りISBNの扱いには困っていましたが。ただし、改訂の有無など同定作業はむずかしいですね。新マークとして提供していただけるなら、何らかの形で目録に反映できると思います。	愛知県 A 図書館
個別のものを第1位にするならよい。	岡山県 C 図書館
相互貸借で利用できる。	福岡県 A 図書館

どちらでもよい

単品のISBNがあれば、セットやシリーズのISBNまでは必要ないと思います。	長崎県 A 図書館
ISBNが100誤っていた時はどうなりますか？	愛知県 C 図書館
何故ISBNがたくさんあるのか不明。	青森県 A 図書館

反対

詳細な情報になるのは良いが、この数字が何でアルファベットが何など覚えられず、何月何日からそのISBNになったという表示ならまだしも、その本に表示のない刷った日のISBNが必要であろうか？	福島県 A 図書館
---	-----------

4-3. 本タイトルのルビの付記を中止

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
131 (49%)	75 (28%)	56 (21%)	5 (2%)

賛成

漢字検索に対応するためには、その方がよい。	東京都 D 図書館
ぜひ中止してください。	長野県 A 図書館
漢字検索でヒットしない以上いたしかたなし。	愛知県 K 図書館
わかりやすく良いと思います。	愛知県 A 図書館
累積 MARC 修正ならよい。	群馬県 B 図書館
551A と 551G の表示の仕方によっては、反対。著者によるルビがわかればよい。	愛知県 B 図書館
WEB OPAC 上ではない方が検索しやすい。	兵庫県 A 図書館
完全一致ができないため中止に賛成。	千葉県 D 図書館
当館でも付記せずにアクセスポイントで対応してきたので。	東京都 A 図書館
漢字検索でもヒットしないので中止がよい。	徳島県 A 図書館
ただし、データのあった方がよい。タイトルに関する注記に入れることで補ってほしい。	長野県 C 図書館
検索が便利になる。	福岡県 A 図書館
著者の意図するヨミかどうかわかるようにしてほしい。(類推ではなく)	岐阜県 C 図書館
これは、必ずやってください。西村京太郎の「夜行列車(サンライズエクスプレス)の女」など、検索できない。	埼玉県 A 図書館

どちらでもよい

今までの方が、普通でない読み方をするというのがパッと見てわかるのでわかりやすいですが、確かに検索でヒットしない事もありました。難読漢字でも同じ事なので、まっどちらでも良いかと思います。	愛知県 H 図書館
本の所蔵の検索をカナ検索ですることがほとんどで、あまり漢字検索にはこだわらない。	広島県 B 図書館
本タイトルのヨミで対応していれば、特に問題はないと思う。ただし、転記の原則に照らし合わせると問題になる場合もあるのでは？	静岡県 A 図書館
付記してあってもなくても、どちらでも困るような気がします。ルビの付記がなくなると、ヨミの箇所だけにその言葉がでてくるので、「この言葉はどこから」という疑問が生じるのではないかと思います。ただ、漢字検索でヒットしないとの指摘があるならば、それへの対応もしなければならないので、考えさせられます。漢字検索は中間一致検索をすることで、対応できないのでしょうか。	山梨県 B 図書館

反対

例に示されているケースは検索可能。ルビ付記のいい所は残すべきと思います。	岡山県 A 図書館
累積している書誌データと整合がとれないため、NCRの規定との矛盾が生じるため。	千葉県 A 図書館
本タイトルのルビは必要！	北海道 D 図書館
漢字検索・ルビ検索共にヒットするよう改善できないものか…。タイトルルビがあることで特殊な読みが明確になり都合よいと思っている。	三重県 B 図書館
記述は記述であり、漢字項目を標目として扱うにはタグ新設が望ましいと考えます。漢字項目が部分一致で検索される際には、ルビがあっても検索されますし、むしろルビについて漢字検索する場合も考えると付記の中止はすべきではないと考えます。	群馬県 A 図書館
標記はタイトルに忠実であってほしい。	千葉県 B 図書館
ヒットしないのはシステム側の問題ではないでしょうか。OPACでの表示には()書きがある方が、利用者にとってわかりやすいと思います。	静岡県 F 図書館
読めなかったりするのです。	山梨県 A 図書館
カタカナ検索であれば、どちらも検索可能である。ルビがなくなると著者が意図して読ませようとするタイトルがわかりづらくなるため、今までどおりの表示希望。	北海道 E 図書館
ルビを抜いた形の漢字検索の要望は図書館ごとのシステムで解決する問題。	兵庫県 C 図書館
現行のままの方がよい。	和歌山県 A 図書館
当て字のタイトルなどもあるのでルビは入った方がよい。	広島県 A 図書館
昨今は作家の独自の造語によるタイトルづけが多い。正確には何と読むかがひと目できちんとわかった方がよい。	北海道 F 図書館
漢字変換で出しにくい資料もある為、ルビは残して欲しい。	茨城県 D 図書館
表記形と検索用文字列を別タグで併記する形にならないか。	栃木県 A 図書館
ニュースp57の方法ではルビ読みであったかどうか、表記の上でわからないので、利用者に明示できないと思います。	東京都 C 図書館
表記部分からルビがわかる方法があればよいと思う。	愛知県 E 図書館
現物に明記されているのであれば、表記すべきだと思う。	岡山県 C 図書館
ルビの付記なし・有、両方残せると良い。251A02で付記はできないのでしょうか。	大阪府 B 図書館
資料詳細画面で、ヨミがわかった方がよい。	島根県 A 図書館
データ上も原タイトルと同じ表示でみたい。ヒットの問題があるなら本タイトルでなくても、注記とかデータ上のどこかにルビ付原タイトルを入れてほしい。	三重県 C 図書館
漢字検索でヒットするように改良してほしい。	岡山県 E 図書館
ルビを付記して、漢字検索に対応できる方法はないのでしょうか？	福島県 A 図書館
利用者用の検索ツールとして、漢字表記での検索が可能となったため、書名途中にルビデータの挿入がなくなることによって、未ヒット率が下がるという点では、仕様変更はよいと思います。ただ、ルビがあることについて書誌的なフォローを何らかのタグで行ってほしいです。	奈良県 C 図書館
タイトルを何らかの案内で聞いて検索する場合もあるのでルビはあった方がよいです。	愛知県 F 図書館

4-4. 責任表示の範囲を拡大(〔ほか〕の範囲を狭める)

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
186 (70%)	66 (25%)	9 (3%)	6 (2%)

賛成

最近大勢でだしている本が多い。	山梨県 A 図書館
著者が4人以上も検索できれば、特定著者に関する資料検索の幅が広がる。	広島県 B 図書館
多くの著者で書かれている場合、一人の著者しか書かれていないと検索した時に出ないと困る。	広島県 A 図書館
非常によいことだと思います。	愛知県 C 図書館
ぜひ省略せず、入力していただきたいです。	山梨県 B 図書館
責任表示はなるべく網羅してデータ表示したほうが良いと思うので賛成です。	岩手県 A 図書館
著者で検索することも多いので、4人以上でもお願いします。	埼玉県 A 図書館

どちらでもよい

便利だとは思いますが、自館で書誌を作成する時、整合性をとるのが大変そう。	千葉県 B 図書館
基本的には賛成ですが、あまりに多数の著者を入力した場合、データが煩雑になりすぎるのではと思います。	大分県 A 図書館

反対

範囲の拡大はよいが、入力順序の変更はやめてほしい。	兵庫県 A 図書館
全ての責任表示を記述することは、余りに無駄な作業である。もし10人の著者がいたら10人全てを記述するだろうか。NCR(1987Rev)に準拠し、現行のままで良い。検索出来るように考えるのなら、著者典拠等の記述で対応できないだろうか。表記としてはまず注記に〔ほか〕の著者名を記述し、典拠・著者統一で対応するのが良いと思う。	静岡県 A 図書館
今までどおりでよい。	東京都 A 図書館
請求記号を著者名でとっているので、入力順が違うとわかりにくい。	島根県 A 図書館
多すぎる情報はかえって混乱を招くのでは。	滋賀県 A 図書館
4以上の著者について入力されることは賛成です。ただし、2以上の責任表示の入力順序変更については反対です。(現行は図書記号を著者からとっているため。)	奈良県 C 図書館

無記入

データ容量による(現在のHDD空容量少ない)。	京都府 A 図書館
「範囲の拡大」については賛成。「入力順序」については従来どおりの優先順位で行ってほしい。	長野県 C 図書館

4 - 5 . 出版年月・日の入力に変更して 2003/04/03 と入力

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
98 (37%)	144 (54%)	18 (7%)	7 (2%)

賛成

日まで限定できると、よりポイントをあてて検索できるため便利になると思います。賛成です。	静岡県 D 図書館
書誌登録の際、図書館によっても異なるので、TRCで統一していただけるとよい。	群馬県 B 図書館
入力形式には賛成ですが、日付まで入力する必要性はないように思います。	静岡県 C 図書館
これまでは2003.4、今後は2003/04/03、データ形式が違ってしまふ。	岩手県 A 図書館

どちらでもよい

あまりあてにはしていないので(明らかにありえない出版日のものもあるので)どちらでもかまいません。	長野県 A 図書館
Lics - R では入力項目がないため。	岡山県 B 図書館
あまり意味がないと思う。	千葉県 D 図書館 ほか 7 館
出版年月で十分な気がする。あえてスラッシュを用いてまとめて入力する必要はない。	静岡県 A 図書館
どちらかという入っていないなくてもいい。どうせ実際の発売と奥付の日付は別だから。	茨城県 A 図書館
日まで入力する必要性はないように思います。出版年については(出版年不明)とされている場合が多いので、できるだけ推定出版年を入力していただきたいです。	大阪府 A 図書館

反対

・を / にする目的がわからない。	山梨県 A 図書館
目録規則では“出版年”までであり、従来は“出版年月”までであった。ここまで(出版年月日)詳細にする必要性はない。	北海道 G 図書館 ほか 6 館
年月日の区切りは / (スラッシュ)ではなく、今までのとおり . (ピリオド)の方がわかりやすい。(/ は 1 と間違えやすい)	茨城県 B 図書館
日の入力はしてほしいですが、 / (スラッシュ)でなく、今までどおり「・」にしてほしい。	大分県 A 図書館

無記入

Uタイプにも日にちまで入力してほしい。	福岡県 C 図書館
---------------------	-----------

4 - 6 . 出版年月日のアクセスポイントを新設

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
109 (41%)	147 (55%)	5 (2%)	6 (2%)

賛成

日まではいけない気がするが、月のアクセスポイントが増えれば検索の便も良くなると思う。 出版年に関連して、刷り年のタグ新設は出来ないだろうか。MARCがいつの資料を用いて作成されたのか記述してほしい。基本的に初版の資料を基に作成する方向が望ましいと思うが、現時点ではそうでない場合が多すぎる。せめて、注記にでも記述の根拠を示す必要があるのではないか。記述の根拠の表示は、書誌作成において基本である。	静岡県 A 図書館
日までは不要。	東京都 A 図書館
出版年月日のみでよい。	徳島県 A 図書館
当館では〔19 - -〕は1900、不明は0000にしています。〔19 - -〕が19というのにはちょっとひっかかります。(現実問題としては19年刊の本があるとも思えないのでよいのかもしれませんが)	大阪府 A 図書館
当館の場合は、すでにシステム側で対応できていますが、あったほうが良いと思われま	岐阜県 B 図書館

どちらでもよい

月まででいい。	福島県 B 図書館
絞込み以外ではあまり使わないので。	千葉県 B 図書館
出版年月日は正確な方がよい。	群馬県 B 図書館
出版年月日をアクセスポイントとするしないは図書館ごとのシステムで設定するもの。	兵庫県 C 図書館
あまり必要性を感じない。それより、推定〔 〕や推定ハイフン19--は残すべき。	岡山県 C 図書館
月日で引いたことはない。	茨城県 A 図書館
使用するシステムによって解決できることなので、MARCのタグにそこまでは求めていません。	滋賀県 A 図書館

反対

4 - 5と同様“ / ”で区切るべき。	山形県 A 図書館
----------------------	-----------

4 - 7. 前付ページの省略を中止

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
139 (52%)	111 (42%)	11 (4%)	6 (2%)

賛成

わかりやすくいいと思います。	愛知県 A 図書館
より正しいデータを入力するなら前付けページも必要である。	静岡県 A 図書館
省略の中止そのものには反対しません。前付の有無に関わらず NCR に忠実に対応していただけたらいいと思います。	岐阜県 B 図書館
なぜ今まで省略されていたのかわかりません。いつも修正していました。	大分県 A 図書館

どちらでもよい

大体のページ数がわかればよいです。	愛知県 H 図書館
あまり並列しても見にくいのでは？	三重県 A 図書館
見にくくなる、という意見がありました。本文のページ付が4種以上の時は全体ページ数にできませんか？「1冊」ではわかりにくい。	岡山県 E 図書館

反対

ページ数フィールドのエリアが桁切れする恐れが大きい。	東京都 D 図書館
1冊では、本の厚さが分かりにくい。	岡山県 B 図書館
前付をローマ数字で入力するならばともかく、アラビア数字ではまぎらわしい。現行通りがよい。	愛知県 K 図書館
前付ページは除いて記述しているので。	東京都 A 図書館
どれが前付けかの判断が難しいのもわかるが、4種以上になり1冊になってしまうと、パンフのようなものと区別つきにくくなる。	茨城県 A 図書館
前付けページを省略なら省略、記述するなら記述するとはっきりしましょう。現行で良いと思います。ページはお客様に資料のおよその分量を示し、次に書誌的事項の確認に用いるのですから。5.1.4.251p といった表記をお客様はどのように判断すると思いますか。なお、ページ付無で1冊となる記述の場合は、1冊(ページ付無)とした方が親切と思いますが。	奈良県 A 図書館

4-8. タイトル関連のアクセスポイントにアルファベット・数字を含む読みのタグを新設

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
202 (75%)	58 (22%)	2 (1%)	5 (2%)

賛成

読みかたがわからないものがありますので、ぜひお願いします。	長野県 A 図書館
Kcal KCALは分かりにくい。大文字は大文字、小文字は小文字がいい。	青森県 A 図書館
例文にある「Q & A」のように「キューアンドエー」なのか「キュウアンドエイ」なのかカタカナヨミで違うので、この案には賛成です。	静岡県 D 図書館
非常にありがたいことです。自館で入力したこともあります。	群馬県 A 図書館
カタカナ読みと併用なのでよいと思います。	愛知県 A 図書館
数字の読み方 1 つで検索できない事もあるのでありがたい。	三重県 A 図書館
利用者端末で、数字、英単語、コンピューター本など、カナ読みより直接入力した方がずっと正確。上手に検索できなかったようだ。	埼玉県 C 図書館
コンピュータ関係等、アルファベットや数字で直接入力したいと思う資料が多々存在する。一般化されている言葉はその読み方で、そうでない場合はアルファベットそのままの読み方というのは基準にゆれを生じる。標目付則では補いきれていない。アルファベットや数字を含んだ読みのタグを新設してもらえれば、図書館職員だけでなく利用者自身も検索しやすくなり、利用者と資料を結び付ける手段が増える。読み、アルファベット数字のどちらからも検索出来るという形が望ましい。累積マークも遡及して欲しい。	静岡県 A 図書館
アクセスポイントとして有効。Uタイプにも提供してほしい。加えて漢字形のサブフィールド 251 ~ 259B で漢字のわかち形を提供してほしい。	愛知県 J 図書館
追加していた事項なので賛成。	東京都 A 図書館
英数字の読み方は迷うことがあるので便利になると思う。	北海道 A 図書館
変更後のUタイプにも新設してほしい。(大きな要望です)	愛知県 C 図書館 ほか 1 館
これは絶対必要。	福岡県 A 図書館
アルファベットのヨミがわからない場合があったので(例:ISO イソ、アイエスオー)とてもいいと思います。	福島県 A 図書館
利用者にとってはかなり便利な機能になると思います。	奈良県 C 図書館 ほか 1 館
人によってヨミ方が違うので、このような形にしていただけると助かります。	山梨県 B 図書館

反対

アルファベット数字はそのままの形で検索、カタカナ形タグは不必要に感じる。	群馬県 B 図書館
--------------------------------------	-----------

4-9. シリーズレベル・各巻レベルのアクセスポイントを全体レベルと同様に

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
157 (59%)	99 (37%)	3 (1%)	8 (3%)

賛成

アクセスポイントとして有効。ただし、シリーズ典拠まで入れるとデータ量が増え過ぎにならないか不安がある。	愛知県 J 図書館
フィールドの変更には反対。	北海道 B 図書館
これもすごく便利。	福岡県 A 図書館

どちらでもよい

情報はあった方がいいと思うが、読みきれぬか不安。	青森県 A 図書館
新設は控えめにしてほしい。	群馬県 B 図書館

無記入

同じシリーズ・同全集中のいくつかの書誌のタグを列挙しないと全体像がつかめない。「全体レベル」という言葉の意味するところがわからない。	長野県 C 図書館
--	-----------

4 - 10. 巻次の読み (551D・591D・581D) を4文字からすべて読むに変更

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
199 (74%)	63 (24%)	0 (0%)	5 (2%)

賛成

現マークでは部編名から検索できないため、該当の書誌にたどりつくまで時間がかかっていたので、Uタイプでも是非入力していただきたいと思います。	千葉県 E 図書館
巻次の読みから検索したい本もあるのですべて読みを入力してほしい。	兵庫県 A 図書館
アクセスポイントとして有効。	愛知県 J 図書館
すべて読んだ方が適切である。	東京都 A 図書館
自館で入れるものは入力していましたので、賛成です。	福島県 A 図書館
巻次のヨミ賛成ですが、部編名について、お客様は書名の一部と捕らえることが多いようですし、一部苦情もいただいています。(「ソフトウェア操作技術編」など、)以前よりの部編名は書名の一部とした方が良いという意見は変わりません。(意地が悪いですがNCR1987準拠です。)	奈良県 A 図書館
今までのマークとの整合性を保ってください。	大分県 A 図書館
ぜひ、お願いします。	山梨県 B 図書館

どちらでもよい

既に何回か変えられていて巻次順に並ばないため、どちらでもよい。これ以上の変更はないでしょうね？	東京都 D 図書館
データ作成側としては、巻次読みがアクセスポイントになるのは喜ばしいです。ただ、システム(ソフトの修正などの担当)側からは、そこまで必要なことなの？という意見があるかもしれません。	愛知県 A 図書館
データが増大すればハードディスクの増設が必要となるので、どのくらい増大するか？	京都府 A 図書館
システム上長すぎると入らないので。	茨城県 A 図書館

無記入

Uタイプでは採用されてもシステム対応できません。新マークでの採用は賛成です。	東京都 C 図書館
--	-----------

4 - 11 . 出版者・全集・シリーズ・件名の典拠IDの提供

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
130 (49%)	126 (47%)	2 (1%)	9 (3%)

賛成

以前から770Bが、著者のように出版者の統一形であれば...と思っています。(当館では270Bと同じものが770Bタグに入っています) 目標規則上、それは難しいかもしれませんが、典拠を作っていただくことで一歩前進だと思います。	愛知県 A 図書館
出版社の社名変更等対応して下さい。全集名もこころこころ変えるの多し。でも典拠統制(コントロール)できるのですか？	千葉県 D 図書館
全集やシリーズは典拠をはってリンクさせるのが望ましい。	静岡県 A 図書館
当館では全集・シリーズのファイルをもって管理している。出版者等の典拠 ID は必要性を感じないが件名はあってもよい。	東京都 A 図書館
典拠ファイルをどのように使うか未定でも、IDが入っている方が後々便利なので良いと思う。	兵庫県 B 図書館
件名は修正・統合などするために典拠 ID があった方が管理しやすい。	茨城県 A 図書館
全集やシリーズの典拠のうち便宜上のものを直してもらえるとうれしい。	茨城県 A 図書館
全集典拠等が提供され、導入することができるならば、新継続でないものでも欠本なく購入する本の管理ができると思うので便利になると思います。	奈良県 C 図書館

どちらでもよい

典拠先の情報などは出版者の公式サイトより参考にできるので、その分のボリュームを他にあてても良いかと思います。	静岡県 D 図書館
不必要。	静岡県 C 図書館

無記入

出版者は、同姓同名の個人も別人とすれば賛成。全集・シリーズはあまり必要性を感じない。	岡山県 C 図書館
--	-----------

4 - 12 . 出版者読みの分かち書き

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
120 (45%)	116 (43%)	23 (9%)	8 (3%)

賛成

使いやすい。	群馬県 B 図書館
複雑な名前の出版社もあるので便利になる。	北海道 A 図書館
なぜ分かちしていなかったのかわからなかったので、分かち書きに賛成です。	福島県 A 図書館

どちらでもよい

系統的に問題がないので、その必要性を感じない。	静岡県 A 図書館
どこで分かつのかわかりにくい。	岡山県 D 図書館
ただし、今までのものとの統合をはかる必要があり、当館での業務は増える。	茨城県 A 図書館

反対

典拠割れする。現行のままで不自由でない。	東京都 D 図書館
現在のデータ修正が必要になる。分かち書きでなくとも困らない。	岡山県 B 図書館
和書については必要を感じません。	愛知県 A 図書館
統一がとれない。	和歌山県 A 図書館
当館のシステムに大きな障害が発生し、レファレンス業務に重大な影響を及ぼす。	愛知県 C 図書館
典拠がわかるので変更しないでほしい。分かちの基準を明確にしてほしい。	東京都 E 図書館
必要性を感じません。	静岡県 C 図書館
現在の目録データとの整合性がとれない。分かちにするメリットがわからない。	東京都 B 図書館
自館の出版者 DB を変更しなければならない。	茨城県 A 図書館
今までの典拠と、どう整合性をとるのですか？典拠が乱れるのではないですか？	大分県 A 図書館

無記入

遡及分データに反映できれば賛成。自館独自データを含めて反映できる方法があるのでしょうか？	東京都 C 図書館
--	-----------

4 - 13. 注記のタグの細分化に応ずるアクセスポイントを新設

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
111 (42%)	142 (53%)	3 (1%)	11 (4%)

賛成

更に、サブフィールドBでカタカナ形に対応する漢字わかち形を増設してほしい。	愛知県 J 図書館
細分化しすぎの感があるが。	東京都 A 図書館
展覧会会場や書誌的来歴などが検索できると、郷土資料が探しやすかったり便利になる。	茨城県 A 図書館
細分化には反対と書きましたが、細分化するなら必要だと思います。	大阪府 A 図書館

どちらでもよい

新設は控えめにしてほしい。	群馬県 B 図書館
注記のタグを細分化するならアクセスポイントの新設は必要。ただし、細分化するかどうかを検討する必要があると思う。	静岡県 A 図書館
アクセスポイントが増えるのはありがたいのですが、タグの細分化は必要なのでしょう？細分化されても、それらのタグを一度に検索できればよいのですが。	岐阜県 B 図書館

反対

タグの増やしすぎ、細分化のしすぎ。	大分県 A 図書館
-------------------	-----------

無記入

タグを細分化するより、一般注記をリピータブルにして、検索に対応するところとしないところの2パターン入力場所をつくってほしい。	岡山県 C 図書館
タグの細分化には反対だが、実施するのであれば当然アクセスポイントも必要になる。	北海道 G 図書館

4 - 14. 受賞情報の追加・書評（新聞掲載日付・書評者の追加）

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
198 (74%)	60 (22%)	4 (2%)	5 (2%)

賛成

この項目はぜひ必要だと思うので賛成です。	岩手県 A 図書館 ほか 1 館
使用、利用価値のある情報。	埼玉県 C 図書館
受賞した資料を借りたいという利用者からの問い合わせがあるため、フィールド新設をしてもらえると直接サービスをする上で役立つ。書誌情報だけでなく、検索にそれらが反映されるとなお良い。例えば、芥川賞と入れると、受賞作品の一覧が検索される。	静岡県 A 図書館 ほか 6 館
累積データも更新してもらえたら便利だと思う。	鹿児島県 A 図書館 ほか 1 館
Uタイプについても追加希望。	北海道 E 図書館 ほか 2 館
サブフィールド分割しすぎではないだろうか。1行にまとめた記述でもよいのでは。	東京都 A 図書館
情報としては追加したい部分だが、刊行されてからの追加情報であれば MARC のメンテをしなれば追加されない。	愛知県 E 図書館
受賞は賛成ですが、書評はいらないと思います。	福島県 A 図書館 ほか 1 館

どちらでもよい

必要があるのでしょうか？	愛知県 A 図書館
文学賞の種類が増えたので受賞情報はあってもいいが、書評の情報までではなくてよい。	徳島県 A 図書館 ほか 1 館
新しい情報の追加は便利だが、追加処理にかかる時間を考えると必要ないかも。	茨城県 A 図書館
受賞情報、掲載紙はあるといいなあとは思いますが。ただ、新刊案内掲載号は、Tool で調べる時はあるといいのですが、自館では必要ありません。	山梨県 B 図書館

反対

受賞情報は便利。書評は不要では？	福島県 B 図書館
インターネットより入手できるので、その分の情報量を他に回した方がありがたい。	静岡県 D 図書館
1つの MARC が重くなりすぎる？	滋賀県 A 図書館

無記入

Uタイプにも入力してほしい。	福岡県 C 図書館
----------------	-----------

4 - 15 . 地域区分を追加

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
135 (50%)	123 (46%)	2 (1%)	7 (3%)

賛成

当館は地名件名ファイルを維持しているが、地名件名に近いものにとらえた。	東京都 A 図書館
郷土を探すのに便利。合併でどうなるかが心配。	茨城県 A 図書館
あれば便利。	福岡県 A 図書館

どちらでもよい

件名の地理区分で、不自由していなかったのに、コードを新設する意味がわからないのですが。	埼玉県 B 図書館
件名で十分ではないでしょうか？	愛知県 A 図書館
地域については一般件名で対応可能。	北海道 G 図書館
市町村合併による自治体名の変更が生じた場合、自治体コードは変更になるのではないのでしょうか？(その場合、既存データはどうなるのでしょうか？)	奈良県 C 図書館

4 - 16. セットもののシリーズレベルの分類記号・図書記号・巻冊記号の提供

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
179 (67%)	76 (28%)	2 (1%)	10 (4%)

賛成

ずっと求めていました。しかし、「科学のアルバム」あかね書房がどう分類されるのか楽しみです。	三重県 B 図書館
発注システムについても検討する必要があると思います。	群馬県 A 図書館
分類記号の提供は有効。	東京都 A 図書館
シリーズで並べる場合の目安ができて有難い。	北海道 A 図書館
ローカルデータとのかねあいがあるのでぜひ必要。	東京都 E 図書館
絵本の主題分類は必要なのか？分類で検索する際、煩雑で検索しづらいのでは？	北海道 B 図書館
各巻レベルでタイトルをとるのであれば、これがなければ配架上まとめるのに各館で請求指示を出すのに支障がある。指示モレが多くなるとされる。	茨城県 A 図書館
タイトルのとり方が変わることを考えるとシリーズのNDCでラベルが指定できるようになるとよい。	茨城県 A 図書館
シリーズ分類記号のサブフィールド新設は賛成。	福島県 A 図書館

どちらでもよい

セットものを各巻に分類するのは大変ですが、シリーズどりにして分類するのは簡単です。	静岡県 F 図書館
各図書館により、取り方がちがうが、参考になる。	群馬県 B 図書館

反対

単行書扱いが変更後のUタイプも行われるのなら、これも変更後のUタイプに適用されるべきである。	愛知県 C 図書館
刊行中の資料の表記が分かれてしまうのは、図書館の現場として困ります。(これまで同じセットものとして同じ分類(同じ配架場所)に並んでいた資料が、刊行の途中から各館タイトル・各巻分類を付与され、配架場所が分散されるのは困ります。)	奈良県 C 図書館

無記入

システム次第です。	愛知県 B 図書館
Uタイプでも提供すべき。	岡山県 C 図書館

4 - 17. 基本件名標目表（第4版）の採用と付与数の変更

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
177 (66%)	79 (30%)	0 (0%)	11 (4%)

賛成

時代の変化に即対応...よいですね。	三重県 B 図書館
できるだけ件名が多いほうがよい。	兵庫県 A 図書館
第4版の採用は賛成。ただし、付与数は多すぎると思う。	東京都 A 図書館
3版による件名も付記できないか？	栃木県 A 図書館
現行でBSHを採用しているから。	茨城県 A 図書館
第4版採用は当然の流れと思うが、付与数は現行で可。	北海道 G 図書館
累積分のマークは「第4版に修正」ではなく「第4版の件名を追加」していただけるとありがたい。	岐阜県 B 図書館

どちらでもよい

対応表を提供していただければ、ありがたいです。(当館の辞書修正の必要があるので)	愛知県 A 図書館
3版との整合性はどうなるのですか？新たに件名が増えていくばかりな気がします。	大分県 A 図書館

5. 新個人名典拠ファイル・新団体名典拠ファイルの提供

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
166 (62%)	93 (35%)	0 (0%)	8 (3%)

賛成

あまり有名でない人ほど重宝される。	埼玉県 C 図書館
AV 関連(芸術家やタレント等)もタイムラグなしに図書が入ってきたときと同時に提供してほしい。	東京都 A 図書館
新マークは典拠が必須とのことなのでもう少し価格を下げしてほしい。	東京都 E 図書館
既存のデータとの照合がうまくいけばいいのですが。	神奈川県 A 図書館

どちらでもよい

使っていないのでよくわかりません。	千葉県 B 図書館
システム側で、もともと全タグを利用できないので、現状では意義が薄い。	岐阜県 B 図書館

6. 典拠ファイル(全集・シリーズ・出版者・件名)の提供

	必要	どちらでもよい	不要	無記入
全集・シリーズファイルの提供	128 (48%)	125 (46%)	4 (2%)	10 (4%)
出版者ファイルの提供	120 (45%)	132 (50%)	5 (2%)	10 (4%)
件名ファイルの提供	133 (50%)	120 (45%)	4 (2%)	10 (4%)

典拠ファイル(全集・シリーズ・出版者・件名)へのご意見

賛成

固有のタイトルを持つセットものの取り扱いがかわるため、全集・シリーズファイルは必要であると考えます。ただし、好条件により典拠ファイルが利用できない場合は新 TRC MARC は改悪となる可能性があります。	群馬県 A 図書館
当館では全集・シリーズファイルを維持管理している。同じようなものかと思う。	東京都 A 図書館
当面は内部で利用するだけでもかなり参考になるのではないかと思う。	兵庫県 B 図書館
全集・シリーズ典拠はもう少しかけあわすキーをふやし限定可能にしてほしい。今のままだと誤解をまねくのでは。	東京都 E 図書館
全集・シリーズについては“便宜的なファイル”ということで、シリーズが異なる場合でも一つになってしまうことがあるという点が困ります。その点がクリアされるといいのですが、現状では使いにくいのではないのでしょうか。	山梨県 B 図書館

どちらでもよい

件名ファイルの提供は検索するとたくさんの情報が出てくると思うので、分類など分かりやすいように明記されていればいい。	青森県 A 図書館
信頼性を高めてください。	愛知県 C 図書館
典拠ファイルといいながら、著者典拠のようなコントロールをしていないとお聞きしています。同一とするものの条件が、TRC独自の考えによる点が利用する上で問題になることが予想されます。積極的に取り込んで利用できるものか疑問です。	大阪府 A 図書館
今までのUタイプマークの典拠との整合性は？典拠が乱れるようなら困ります。	大分県 A 図書館

反対

インターネットなどで閲覧できれば、当館の目録に反映させることがあるかもしれませんが、とりあえず必要ではありません。	愛知県 A 図書館
ここまで詳しい情報が必要なのか疑問。実際的にはあっても使いこなせないのではないか、データ量がかなり多くなるのではと不安。	東京都 B 図書館

7. 新内容細目ファイルの提供（著者の典拠コントロールの開始）

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
165 (62%)	86 (32%)	1 (0%)	15 (6%)

賛成

編著の場合、必要。	山梨県 A 図書館
松谷みよ子がマツヤミヨコのときはびっくりしました。(TRC 注: 早速修正いたしました。ご指摘ありがとうございました。)「ジョン」など同名が多い名前では典拠がないと参照づけもできません。	茨城県 A 図書館

どちらでもよい

インターネットなどで閲覧できれば、当館の目録に反映させることがあるかもしれませんが、とりあえず必要ではありません。	愛知県 A 図書館
---	-----------

反対

あった方が便利かもしれないが、本当にここまでの詳しいデータが使いこなせるのか疑問。データ量が多くなることで容量が心配。	東京都 B 図書館
---	-----------

8. 目次情報ファイルの提供

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
153 (58%)	94 (35%)	6 (2%)	14 (5%)

賛成

学術、講義書のみでなく一般書にも適用していただきたい。	千葉県 A 図書館
まず目次をみて、事柄を探すので。	山梨県 A 図書館
レファレンス等で知りたい情報がのっていたのが、題名では判断つかなかった。とても良い。	埼玉県 C 図書館
たいへん便利になると思います。	福岡県 E 図書館
今までに作られていなかった内容細目がこのことでカバーされることもありうる。蔵書数の多い図書館ではノイズが増える可能性もある。	東京都 A 図書館
「実務(P)」についても提供してほしい。	長野県 C 図書館
内容紹介の他に目次があると内容がわかりやすい。	茨城県 A 図書館
便利。	福岡県 A 図書館
書名、件名以外から検索出来、資料を生かせる。	東京都 G 図書館

どちらでもよい

Tooliiで見られれば館内にまでなくても、と思います。便利ですが相当なデータ量ではないですか？ 今後はweb連携の館内OPACになっていくでしょうし。	静岡県 F 図書館
利用対象が講義学術の図書について全て入力されるのか。どのくらいの件数があるのか。	鹿児島県 A 図書館
資料別選択ができるかどうか。	静岡県 G 図書館

9. 各巻レベルの著者紹介の中止

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
50 (18%)	171 (64%)	31 (12%)	15 (6%)

賛成

文学全集などで著者での検索はそのままできるのでしょうか。	徳島県 B 図書館
MARCで提供する必要はない。	群馬県 B 図書館
典拠ファイルの内容が詳細であればよい。	岐阜県 B 図書館

どちらでもよい

累積データに置き去りのフィールドができてしまうおそれがある。	鹿児島県 A 図書館
件数が減るからということのようですが、ゼロになるわけではないと思うので中止しなくてもよいのでは、とも思います。	大阪府 A 図書館

反対

著者についてのデータは、少数でも削らないでほしい。	長野県 C 図書館
各巻レベルが少なくなるとはいえ、あった方が選定の参考になる。	茨城県 A 図書館 ほか 2 館

10. MARC上の内容の著者標目の中止

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
63 (23%)	168 (63%)	18 (7%)	18 (7%)

どちらでもよい

当館では以前から100p以上の著作の著者のみ自館入力しています。	愛知県 A 図書館
内容細目で典拠がコントロールされればどちらでも。	茨城県 A 図書館
累積データに置き去りのフィールドができてしまうおそれがある。	鹿児島県 A 図書館

反対

書誌詳細の表示で、著者標目が見える事が望ましい。	群馬県 C 図書館
内容細目ファイルを購入していない館では必要なのではないか。	茨城県 A 図書館

11. 出力順序制御・編集制御の付与方法の変更

賛成	どちらでもよい	反対	無記入
40 (15%)	201 (75%)	2 (1%)	24 (9%)

無記入

影響がどう出るのかわからないので、答えられません。	大阪府 B 図書館
---------------------------	-----------

12. 新TRC MARC案に関連したご意見・ご要望

<p>現行のUタイプを使用している状態で、新規受入する資料から新MARCを取り入れていくのは、難しいと思います。フィールドのタグNO.が変更になるのは、システム上の問題、使用上の扱いから考えて検索しづらくなるのでは？</p>	<p>北海道 B 図書館 ほか1館</p>
<p>時代の要請という観点からも新MARCは必要です。意見の集約には時間がかかると思いますが、是非実現してほしいと思います。</p>	<p>北海道 D 図書館</p>
<p>税制改革に伴う税込み定価への変更、このことについては反対しないが、税別価格のタグは残してほしい。当館の予算管理上、システム改変せざるを得ない状況が出てくる。タグの細分化について、アクセスポイントの伴わない(この精査も必要だが)タグは、細分化しない方がよい。データ修正やデータ流用による作成時の手間が多い。</p>	<p>北海道 G 図書館</p>
<p>よりよいMARC作成のためには必要部分を追加し、必要のない部分は削除するのは当然だと思います。ただ、当館ごとですが、1.システム上うまく稼働するかどうか？ 2.データを取り込めるかどうか？ 3.これまで手入力で作成したものの互換はどうか？(TRC MARCにあわせてデータ作成をしてきたので)等を考えると不安もあります。システム上の不安だけでなく、なればずいぶん楽だと思います。3の部分は当館で修正する部分なので、どうかなとは思いますが。</p>	<p>岩手県 A 図書館</p>
<p>情報が多いのにこしたことはありませんが、はたしてこれだけのデータを上手に活用できるのか、当館でこれだけのデータを業務系に入れることができるのか、データが多くなったとしても(バージョンアップが前提)、合集を一作品ずつの書名の表示にするとか、本タイトルのルビ付記の中止等、本の表記と違う表示になるのはどうかと思います。</p>	<p>福島県 A 図書館</p>
<p>やはりシステムメーカーとの調整が一番大切です。タグで本タイトルと各巻タイトルとわかるようにしても、それがきちんとシステムでとり込まれなければ意味がないです。個々の図書館で打合わせを行うのは難しいので、TRC側でメーカーと打合せしてほしい。本当に理解するまで。</p>	<p>茨城県 A 図書館</p>
<p>利用対象の「幼児」を細分化してほしい(ex.赤ちゃん向けなど)。言語区分に準じた仕様が可能にしてほしい(ex.英語、朝鮮語など言語別の装備やローカルデータの作成)。絵本、紙芝居の主題分類でNDCだけでなく、件名も付加してほしい。</p>	<p>茨城県 E 図書館</p>
<p>時流に即した改革案をご提示いただき、心強く感じております。</p>	<p>茨城県 F 図書館</p>
<p>各館の状況に応じて利用する情報を選択すればよいので、基本情報は多い程よい。</p>	<p>栃木県 A 図書館</p>
<p>汎用マークについては、基本的に実在する資料に忠実に作成していただければと思います。特に記述部については本などに記述されているとおりが望ましいと考えます。検索上の問題については、図書館業務システム上の問題、典拠の問題であることが多く書誌データ上の問題と混同しないようユーザー館に説明すべきと考えます。</p>	<p>群馬県 A 図書館</p>
<p>多種情報を細部に提供されても、一般日常業務で使わないことも多いので、新設は最小限にし、変更・改善にとどめるくらいが望ましいと思う。</p>	<p>群馬県 B 図書館</p>
<p>基本的にはTRCが提案したことで、各図書館から要望があったのでしょうから、賛成します。現場としては、検索がより多くヒットすることができれば良いと思います。</p>	<p>埼玉県 A 図書館</p>
<p>今回の改定により、各典拠ファイルの重要性がさらに増したと思います。早い時期に新マークに移行して便利な機能を使いこなしたいとは思いますが、新マークを十分に生かせるシステムの開発待ちかな、とも思っています。それに、典拠ファイル購入の予算取り、自館累積マークの修正にかかる時間等々を考えると、“便利さを享受するためのハードルは高い”というのが、正直な感想です。</p>	<p>埼玉県 B 図書館</p>
<p>各公共図書館がHPで資料の所蔵検索が可能になってきました。一般利用者が検索しやすいデータの構築、欲しい情報に配慮されてきています。ただコンピュータ自体のデータ容量など少し懸念されます。</p>	<p>埼玉県 C 図書館</p>

全体に詳細なデータになり、便利になった部分もありますが、それが図書館コンピュータシステムにどのように反映されるか、きちんと対応できるのか不安。各図書館が TRC データを有意義に使用できるよう、システム業者との密なる連携を切に希望します。できれば議題や進行状況を、図書館側にも情報提供していただけるとありがたい。	埼玉県 E 図書館 ほか 5 館
検索して一番始めに出てくる画面に、主に必要とされる情報があるだけ載っているのが望ましい。データが細分化され情報量が多くなることにより、画面を切り替える手間が増えるのではないかが心配。	埼玉県 F 図書館
各図書館で必要な目録データの項目を選択できるようなシステムがあるとよいと思います。MARC が改良されるたびに、現行の図書館システムとの適合性が問題となるので、図書館システムに影響のない改良を希望します。容量的にも不安があります。	千葉県 E 図書館 ほか 2 館
アクセスポイントの新設、旧字の採用、注記の細分化等改良点がたくさん見られる。一方、コードやサブフィールドが増えてデータが冗長で煩雑になった。流通に配慮したコード類も多いように感じられる。(狭義の目録作成というより、図書に関するデータの集合といった感がある) 利用者にわかりやすく、多様な検索にも応えうる書誌データにするため、データのとりこみ、タグの変更をはじめとしたシステム対応が必要。採用する図書館側の課題も大きい。	東京都 A 図書館
系統的に新 MARC を採用した場合にどれだけのデータ量増になるのか教えていただきたい。現システムでもマーク全体のデータ量が予想外に増えた為にサーバの運用に支障がでた経験があるので。	東京都 B 図書館
ニュース p105 図書に表示された著者の読みとカタカナ形(統一形)が異なる場合、ゼビマークにも表示された読みも付与してください。本に表示された読みで検索できないのはおかしい。本にどの読みで表示されているか判別できない。「図書に表示されている読みはいろいろ」だからこそ、現物に沿った入力をお願いします。	東京都 C 図書館
各種典拠ファイルの提供にあたっては現行の金額以内でないと採用は難しい。	東京都 D 図書館
ローカルなデータ用として、MARC の中に購入実績のある継続本・シリーズ本は何らかの目印をつけられる所を設定し、ローカルな形で継続購入本のデータを把握できるような所を、MARC 上にあらかじめ用意しておく設定等は出来ないでしょうか。(図書館のシステムサイドで設定すべきことで無理だとは思われますが...)	東京都 F 図書館
現行 U マークと金額が同じか安くなると変更は難しい。また典拠ファイルも同様でないと導入は難しくせつかくの変更が活用されないと思う。自館のシステムでどのように取り込むことになるのかわからないので何とも言えないが、使用されなくなったタグはどのように移行されるのでしょうか。	神奈川県 A 図書館
新 TRC MARC は、かなり改良があり、使いやすいものになると思います。あとは、説明会の時にも出された意見ですが、ヨミの方も充実していただけないでしょうか。当館は公共図書館なので、子供から大人まで様々な人が来館します。大人ならば漢字検索で問題ないのですが、子供はできない場合もあります。また当館の OPAC はヨミだけしか検索できないので、ヨミを充実していただけると助かります。(例:私 = “ワタクシ”だけでなく“ワタシ”でも検索できるように)	山梨県 B 図書館 ほか 1 館
規模の小さい図書館なので、資料を検索したときに、それが出てくるか否かが重要で、それ以外の細かな点についてはどちらでもいいというのが現場の声です。実際、どのフィールドに入っている事項であるか、タグの番号がどうなっているかまで気にしてデータを見ていないのが実状ですので、誰が見てもわかるような MARC にしていただきたい。	長野県 D 図書館
改題された元の本の書誌情報に改題、改訂、改版などの情報を入れて検索できるようにしたい。(タイトルで検索するときに元のタイトルも新タイトルも両方ヒットするように) また中身に関する情報(加筆修正したとか)がほしい。発注管理マークにも改題、改訂、改版情報を入れてほしい。	岐阜県 C 図書館
当館のように小さな図書館では、御社の決定に従わなければならないのが現状でしょう。それならば、我々現場の人間が利用しやすいものになるよう製品の精度を高めてもらうようお願いするだけです。Tool 上に、MARC の不都合な点(例えば変更してもらい	岐阜県 E 図書館

たい点など)を入力できる専用の画面などがあればいいように思います。	
大幅な変更点が多く、実現したらよりわかりやすく、職員にとっても利用者にとっても利用しやすい書誌となると思う。累積マークが反映されない場合が結構あるように思われるが、追々新TRC MARCに倣って遡及されていく方向に努力してもらいたい。	静岡県 A 図書館
MARCが詳細であることは、管理をする側としては大変ありがたいです。しかし、その分MARCの代金が増加したりする様であれば、図書館の規模によってはそれほどの詳細さを求める必要もないかと思えます。必要最低限なMARCと、多様な情報も含んだMARCの2種類の提供をしていただくとありがたいです。情報のボリュームによって価格の高低があっても良いかと思えます。	静岡県 D 図書館
データ内容の充実はとてありがたいことですが、1件あたりのデータ量がかなり大きくなってしまいそうに思えます。MARC の件数も急激に増えていて、システムに、つまりは普段の業務に響くようでは困ります。なんでもかんでも必要なわけではないので選択できるようにするか、でなければ、よく取捨選択していただきたいと思えます。Toolでより多くを表示し、より多くを検索対象項目にしてかつヒットしやすくして頂ければ、今後は双方連携したシステムになっていくと思うので、各館でやたら大きなデータを持つ必要はなくなるのではないのでしょうか。	静岡県 F 図書館
旧字の採用が、一番影響があると思えます。ただし表記のままのデータを提供してほしいという要望は多く、ぜひ採用はお願いしたい。ただしやるならば、典拠の訂正と、できる限り累積版の修正もお願いしたい。典拠の訂正はぜひ。	愛知県 A 図書館
新MARCを採用するにしろ、しないにしろ影響が大きい。16年9月からの開始に合わせるならば16年度の予算化が必要となる。それには15年9月中に電算メーカーから見積をもらうことになるが、はたして出来るか心配である。メーカーとTRCの打合せがどこまで進んでいるか知りたい。	愛知県 C 図書館
インターネットの検索と同様に、利用者が漢字で入力して蔵書検索をすることが一般的となった。新MARCで新設し充実するアクセスポイントを最大に活用できるようにカナヨミ形に対応する形で、漢字の分かち形(サブフィールドB)を提供してほしい。	愛知県 J 図書館
タグ表示はとてわかりにくいです。特に Q とか S、AI など英数記号で表示されているもの。そこをクリックしたらコード表が出るようにするとか、最初から日本語で表示するとか、メーカーさんとも話し合っていて、もう少し考えていただけないのでしょうか。	三重県 C 図書館
情報は多ければよいというものではない。どの範囲・レベルまでデータ化するのが適切か、利用しやすいか？そのラインをどこで引くかをきちんと見極めていただきたいです。	滋賀県 A 図書館
詳細なデータになるのは良いことだと思いますが、表示させる内容をどう構成するのか、ひとつのマークで数ページにわたる内容になるのではないかと考えると、詳細すぎて使いにくいのではないかという気がします。現システムの内容から推定して、使いこなせるシステムになると思えないのですが、どうでしょうか。	大阪府 B 図書館
セットものの取扱いは再考してほしい。価格はUタイプMARCと同じにおさえてほしい。	兵庫県 A 図書館
現在のUタイプとの整合性を保つための調整、データ量が倍近くなるに伴うコンピュータ上の調整を考えると、新MARCを導入するメリットは当館の場合ない。各典拠ファイル、保守契約による更新データを利用することで使い勝手のよいものとなることだが、これらのために新たに予算をつけるのは難しいのが現状。	兵庫県 D 図書館
当館は小さな町の図書館ですので、できるだけ今までのデータとの整合性のとれたものにしていただければ幸いです。互換性のための費用等懸念しています。(特に旧字体やシリーズものに関して)	奈良県 B 図書館
新MARC案の全体的な印象として、一部、図書館や利用者により有用な変更もあり、MARCの使用を改変されることについて理解できる面もあります。ただ、この改変によって画期的に利便性が高まるようには思えません。図書館職員が業務で利用してきたMARCは、館内でのOPACによる利用者の利用から、各家庭等からインターネットによる蔵書検索にも利用されるようになり、現在では、不特定多数の大人から子どもまでがその	奈良県 C 図書館

<p>利用対象となっています。今後、検索時の未ヒット率をいかに低くし、書誌情報と資料を結びつけることができるかが大きな課題です。これは、図書館・MARC会社・図書館システムメーカーが協力することによって解決できるかとは思いますが、周辺ファイルの充実が魅力的ではありますが、既存図書館としては新たに予算項目として予算を計上できるかといとなかなか厳しい状況です。しかし、コンピュータで大量の情報の中から必要な情報を引き出すためには、周辺ファイルはMARCを補完するために不可欠なものです。現実的に図書館として導入しやすい方法での提供をお願いしたいです。(これはデータのメンテナンス費用も同じなのです。ただ単にマークの仕様が変更されたから従来のデータをメンテナンスするために保守料が必要という理由では予算化できません。)</p>	
<p>責任表示は従来通りにしてもらいたいです。背ラベルの表示もありますので。(変更後のUタイプも)。普段、検索の使い勝手の良し悪しはMARCに原因があるのかシステムの性質なのか意識しませんし、新MARC、変更されたUタイプがシステム上ではどう違ってくるのかははっきりわかりません。使う時にどうなるかがわかればと思います。助詞のオ、ワ、エ等がヲ、ハ、ヘで検索できたらいいと思います。</p>	奈良県 D 図書館
<p>検索のヒット率はあがり、便利かと思いますが、余計なノイズも増えるのでは、と思います。Uタイプからの変更の際には、それまでのMARCはそのまま修正はないのか。</p>	奈良県 F 図書館
<p>TRC MARCの競争力を高めなければという背景を強く感じます。マイナーチェンジの運用は現場を混乱させる要因となる可能性もあります。現場の状態をしっかり把握してください。システムのバージョンアップも視野に入れるべき。システムの開発・運用・利用の定着には時間がかかっています。検索機能の向上からすると、ゆきつく先は全文検索ではないかと思います。長期ビジョンにたつて、MARCのありかたを提示いただけるとありがたい。現場としては、これ以上の典拠割れは避けてほしいです。</p>	岡山県 A 図書館
<p>全件マーク購入でない図書館では、累積マークを修正して提供してもらっても、実際には何も変わらず、自分の館で修正するしかない問題が多い。</p>	岡山県 B 図書館
<p>アクセスポイントの充実をはじめ、各種の典拠ファイルをMARCに加えることで使い勝手のよいものになるかと思われるが、町立クラスの図書館では不必要な項目もあり、1件あたりの容量が重くなるし、予算上も基本マーク以外をそろえるのは難しい。</p>	徳島県 A 図書館
<p>本書情報に、より忠実である(字体の統一)。ISSN・ISBNの採用はより有効。検索時にシリーズものがさがしやすい。ルビの付記も同様。注記タグの細分化は、資料の情報がわかりやすいが、TRC MARCにない書誌を登録する場合は手間である。</p>	愛媛県 A 図書館
<p>新しい目録規則の採用や字体統一の中止(旧字の採用)は利用者からの要望もあり、情報量が増加することはレファレンスの助けになります。ただ、まったく新規のデータであるならばともかく、タグやフィールドの整理である場合混乱は無いのか心配です。</p>	高知県 A 図書館
<p>詳細にわたってとてもよく研究、検討された案だと思う。将来的には、館のシステムと適合した運用ができればと希んでいる。これだけマークの密度が高くなると、ケアレスミスが致命的となるので、作成時はもちろんだが、作成後もマークに責任をもって、柔軟性をもって修正に応じてほしい。</p>	福岡県 B 図書館
<p>システム上、経費増にならなければOK。</p>	宮崎県 A 図書館
<p>タグを増やせば確かに便利ですが、ここまで増やす必要があるのでしょうか？タグ一覧をみた時、画面がどんな状態になるか、利用者へ提供した時、表にでない裏タグがどのくらいの量になるか等、使い勝手を少し考えていただきたい。特に「注記」のタグ細分化は、入力を単純化してマニュアル化しようとするためのものとは思えません。</p>	大分県 A 図書館
<p>現行MARCは1)TRC Uタイプ 2)紀伊国屋 3)J-BISC 4)N-BISC 5)自館作成MARCとマークが混在している。新MARCは大幅にUタイプとタグのとりかたが異なるが、当館の現行MARCと共存できるのか？新マークへの置きかえが必要な場合、指定タグだけの上書きが可能か？(自館で修正・付加したMARCが多いため)また、その費用が別途必要なのか？新MARCに置きかえられない自館作成MARCはどうするのですか？そのあたりの説明をしてください。</p>	大分県 B 図書館
<p>絵本や児童書などが本のテーマで検索できるとたすかります。戦争のお話など...</p>	鹿児島県 C 図書館

13. 新TRC MARC案採用予定

採用予定。	岡山県 F 図書館 ほか 8 館
検討中。	北海道 D 図書館 ほか 4 館
システム移行の段階で検討。	静岡県 F 図書館 ほか 10 館
金額、変更内容によって検討。	北海道 B 図書館
現行システム上での利用とMARC単価等の費用面が明らかになった時点で検討。	山形県 A 図書館
価格と電算システムの物理的条件により採用可能であれば行いたい。	群馬県 A 図書館
新マークに移行するには、それに対応したシステムが必要と思われます。システムの更新時期が未定のため、新マークの採用も未定です。	埼玉県 B 図書館
合併の協議の中で検討してみたいが、これまでの累積分を変換することを考えるとむずかしい気がします。	千葉県 B 図書館
当館は中央図書館、各公民館等とネットワーク化されておりますので、単独での回答はできません。	千葉県 F 図書館
今のところ採用予定はありません。財政的な面から、システムの変更は当分できないと思います。	山梨県 B 図書館
周辺の市町村と広域ネットワークを組んでいるため、未定です。	長野県 D 図書館
採用すると、大幅なシステム更新が必要になりますので、Toolと合わせて検討したいと思います。	静岡県 C 図書館
平成13年3月に現在のシステムにリリースしたばかりですので当分はありません。	愛知県 E 図書館
12月新市誕生後に検討したい。	三重県 B 図書館
ハードの容量・費用の面がクリアできたら採用の方向で検討したい。	大阪府 D 図書館
検討してみなければ分からない。	岡山県 B 図書館
特に変更の予定はありません。合併(市町村)のこととからみ、近隣の市と協議し、なるたけ同じ状態に変更していきたいと思っています。	広島県 B 図書館
大幅なシステム改変を伴うため、採用はないかと思っています。	徳島県 A 図書館
当館では典拠コードを購入していないため、現在辞書部に相当の問題がある。新マークの採用には、かなりのシステム変更も要するので、慎重に検討していきたい。導入するとすれば2-3年後になるだろう。	福岡県 B 図書館
新案の詳細について把握、検討した上で、メリットが大きければ採用を考える。	宮崎県 B 図書館

14. Uタイプ変更点に対するご意見・ご要望

フィールドのタグNo. が変更になるのは、システム上の問題、使用上の扱いから考えて、検索しづらくなる事も考えられる。典拠ファイル(全集、シリーズ、出版者、件名)を、Uタイプでも提供してほしい。	北海道 B 図書館
変更後の方がより詳しい内容になるようで良いと思います。4 - 14 受賞情報については、Uタイプについても同じように追加を希望します。	北海道 E 図書館
Uタイプを使用しているので、Uタイプの変更点をすぐわかるようにしてほしい。	青森県 C 図書館
全集もの場合の請求記号の変更は、分類的には正しくとも図書館での実状に合わない場合があるのではないかと。新 MARC のようにシリーズ分類のタグを追加するべきではないか。	山形県 A 図書館
Uタイプについてもシリーズ用請求が必要と思われます。	群馬県 A 図書館
旧字の採用やセットものの取り扱いの変更は歓迎します。	東京都 B 図書館
現システムに対応できるか不安。重くなったり、ダウンロードに時間がかかるのでは。	神奈川県 B 図書館
システムの改変を伴わない部分の改良点はなるべく反映していただけるということなので、ぜひお願いします。	山梨県 B 図書館
累積 MARC を修正する、しないはどのような基準で決めたのでしょうか？ 版の責任表示、合集の取り扱い変更、責任表示範囲等以外は、あまり大きな意味のあることではない気がします。使用しているシステムにもよりますし。	静岡県 F 図書館
新マークの変更部分が反映できるのであればできるだけ取り込んでほしい。	愛知県 E 図書館
Uタイプになく新マークのみのタグで利用可能なものがあれば、タグ単位で取り込めるようにしてほしい。	愛知県 G 図書館
TRC MARC ニュース第 23 号 p83 注 5 について、現行の「原タイトル:原著 版の翻訳」の「原著」と「の翻訳」の語句が省略した形で累積 MARC の訂正が入るのは困る。Uタイプにも、新 MARC で新設になる英数字を含むカナヨミのタグの提供を受けたい。よって、タグ単位で新 MARC のデータ提供を受けられる体制にしてほしい。現状、リストで受け取っているメンテナンスデータを、Uタイプでもタグ単位で電子的に提供してほしい。	愛知県 J 図書館
本市では Uタイプを使用している為、富士通製の I-LIS-X10/NX の対応であれば可能と、システム保守会社からの回答を頂いております。しかし、それ以外であれば困難な状況であります。今回の改良に伴ってシステム変更がないようにいたしますとの説明ですが、データベースの変更等に伴い、ユーザー側に不便になる、もしくは費用が発生することがないように、より検討していただきますようお願い申し上げます。情報がより細かくなることはとてもありがたいことですが、情報があふれすぎて、かえってみにくいか、特定に時間を要するようになっては困りますね。	京都府 A 図書館
新設タグについて、いくつかのタグについては変更後の Uタイプに追加していただけないかと要望したところ、システム対応が必要な新設部分はできない、というお答えでした。それは、受け手の図書館側の変更が必要だからというように理解したのですが、当館では、今回の案で新設されたタグを既に設定して使用しているものもあり、新 MARC をすぐには採用しないがその部分については取りこみたいという希望なのです。Uタイプとしては無理でも、指定のタグだけ別立てでいただくというような手立ては可能でしょうか。追加希望のタグは次のとおりです。 3 - 6 シリーズフィールド変更 4 - 1 コード化情報の追加の内、ISSN の新設 4 - 1 コード化情報の追加の内、著作の言語(言語コード)の新設 4 - 8 タイトル関連のアクセスポイントにアルファベット・数字を含む読みのタグを新設	大阪府 A 図書館

<p>このアンケートの項目にはありませんが、絵本の主題分類(12に書くべきかもしれませんが)。セットものの取り扱い変更に伴って、新たにセットもののシリーズレベルの分類記号等を付与したり、以前から各巻レベルの件名を付与したり(今回はタグ変更)ということをしてはいますが、各巻レベルの分類付与も是非お願いします。そのことによって、書誌階層がどうであれ、請求書記号の選択の幅が広がることになり、館の事情でどう選択をするのか各図書館で選べることになるのではないのでしょうか。</p> <p>また、セットとしての分類よりは、各巻ごとの分類の方が分類検索する場合に必要なと思います。もちろん各巻ごとに主題がはっきりしている場合の話です。セットものの扱いが変わることによって該当するものが減るということになるとは思いますが、ゼロというわけではないでしょうし、条件の「セットものの全体像が初回配本時にあきらかである。」に当てはまらない遂刊タイプのもはこれまでどおりの整理をするということであれば、各巻の分類も欲しいということになります。</p> <p>例えば、「別冊日経サイエンス 122 DNAから見た生物進化」は科学 - 雑誌の分類がついていますが、当館では、TRCマークができる前に本タイトル「DNAから見た生物進化」で進化論の分類をつけました。タイトル等は「別冊日経サイエンス 122 DNAから見た生物進化」でもよいから進化論の分類もついていけばいいのになあということなのです。分類についての規則があたりだとは思いますがご検討をお願いします。</p>	
<p>固有タイトルをもつセットものの取り扱いについて、Uタイプについても変更するのはやめて欲しい。選択できるようにして欲しい。希望する館は採用しないように。</p>	大阪府 B 図書館
<p>セットものの取扱いが困る。UタイプMARCを今後もできるだけ提供し続けてほしい。</p>	兵庫県 A 図書館
<p>Uタイプの変更点のみをまとめたものがほしい。メーカーへの説明を確実に行ってほしい。「地球の歩き方」シリーズの分類を単行本レベルでも与えてほしい(Uタイプ変更案には関係ないですが...)</p>	兵庫県 D 図書館
<p>遡及データはそのままであるとどんな影響がでてくるのか知りたいです。典拠われ、刊行途中のシリーズもの等、色々あるとは思いますが。</p>	奈良県 D 図書館
<p>現行との違いにより、検索上見落とす部分がでてくるのではないかと思う。累積MARCの修正範囲は可能な限りすべてということですね？</p>	奈良県 F 図書館
<p>当館はUタイプを採用していますが、既存マークの修正等はどのようにされるのでしょうか。富士通さんと技術的な打ち合わせも必要と思われます。</p>	広島県 C 図書館
<p>シリーズもの、全集ものが統一できるのか。旧字の採用により統一著者が乱れる。新規タグはいいけれど、タグ変更は困る。Tooliiでの検索はどうなるのか？</p>	和歌山県 A 図書館
<p>Uタイプについては現行通りのものが多いようですが、新MARCとUタイプのもとのが並行するのであれば、書名、叢書名、シリーズ名などのデータがレベル変更されることによって、資料検索の際にかえって混乱するのではないのでしょうか？</p>	高知県 A 図書館
<p>システムとの適合については、現実的に対応可能な範囲のようなので問題はないようだ。ただ、典拠コードを取り入れていない館にしてみれば、「字体の統一の中止」はさらに辞書部を複雑にするので困った問題となる。</p>	福岡県 B 図書館
<p>副書名が、年代の場合、表記タグのみ入力し、カナタグを空欄にするのはやめてほしい。カナタグ、漢字タグはセットにして入力して下さい。年代(昭和4年～10年等)だから入力しないというのはおかしいです。カバーをはずして、本体の表紙、背のデータのみをとるのをやめてほしい。ブックカバーを付けている図書館が多いなか、本体の方の情報の方がわからない状態です。カバーの情報もとって下さい。年版の版示も入力するようにしてください。</p>	大分県 A 図書館
<p>システム修正が発生しない形にしてもらいたい。メーカーへの説明、打合せを十分に行ってほしい。</p>	鹿児島県 A 図書館 ほか2館

TRC MARC ニュース 第 24 号別冊付録
2003年11月14日発行

編集・発行 株式会社 図書館流通センター

データ部

吉田 絵美子

〒112-8632 東京都文京区大塚 3 - 4 - 7

電話 03 - 3943 - 2229 (直通)

FAX 03 - 3943 - 2231